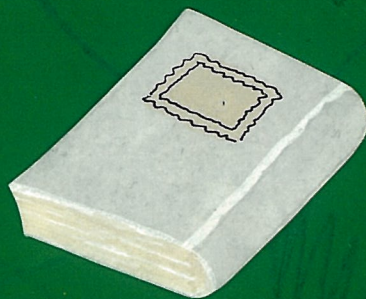


こころと、耳をひらくテキスト

あぷり〜れ

..... 児玉千賀子 著

アジェンダやまがた



こころと、耳をひらくテキスト あぶり～れ正誤表

本書第4巻に以下の誤りがございました。お詫びを申し上げ、訂正いたします。

訂正箇所	上段：誤 下段：正	
5 頁 1 行目	誤	自閉症スペクトラム軽度の知的障害を持つ小学校低学年お子様が
	正	自閉症スペクトラム軽度の知的障害を持つ小学校低学年 <u>の</u> お子様が
16 頁 2 行目	誤	ご自宅でシュミレーション
	正	ご自宅で <u>シ</u> ミュレーション
47 頁 あんたがたどこさ 楽譜 2 段目歌詞	誤	くまもとさ もまもとどこさ せんばさ せんば
	正	くまもとさ <u>く</u> まもとどこさ せんばさ せんば
52 頁 遊び方 3 行目	誤	大げさに弾いみてください
	正	大げさに弾い <u>て</u> みてください
65 頁 たいやきのうた 楽譜 3 段目歌詞	誤	1ク1クたくさんたいやきたべたい
	正	<u>パク</u> パクたくさんたいやきたべたい
83 頁 ゆびばんごうのうた 楽譜 4 段目歌詞	誤	5 とーんとんとん
	正	<u>れ</u> とーんとんとん

こころと、耳をひらくテキスト

あぷり〜れ

だい **4** かん

指導書

先生「はじめまして〇〇先生です」

トおん「わたしはトおんよ」

へおん「ぼくはへおん！」

みんな「よろしくおねがいます!!」

先生



トおんちゃん



へおんくん



もくじ

はじめに	4
このテキスト独自の指導方法の提案	8
障がい児に対する音楽レッスンポイント	10
障がいがあることって、フツウと何が違う？	10
はじめてみましょう	11
レッスンの準備1	12
レッスンの準備2	13
レッスンの準備3	14
アフターフォロー	15
様々な障がい児のタイプの例	16
① 初めての場所や新しいことは大嫌い たろう君	16
② 何事も予定通り！決まったことが大好きな しゅん君	17
③ 間違いは絶対したくない完ぺき ゆたか君	18
④ いつでも一番でないと気が済まない みどりちゃん	19
⑤ いつも体のどこかが動いている、忙しい ゆうだい君	19
「あぶり〜れ」全4巻で、どのくらい弾けるようになるの？	20
はじまりの歌 おわりの歌	22
第1巻お子様用テキストと第4巻指導書の対応	27
第2巻お子様用テキストと第4巻指導書の対応	69
第3巻お子様用テキストと第4巻指導書の対応	79
《資料1》アセスメントシート	88
《資料2》アセスメントシート2	90
《資料3》レッスンの記録	91
《資料4》おんぶさいころ	92

はじめに

特定非営利活動法人アジェンダやまがた

児玉千賀子

音楽の先生方へ

なぜこのテキストを作ったのか

私は、山形市で「音楽なかまアンジェリ」「音楽なかまプリモ」という障がい児のための音楽教室を主宰し、毎日障がいをお持ちのお子様方に音楽指導をさせていただいております。今まで、すでに出版されている様々なテキストを使わせていただきました。私がピアノを習ったころに比べて、綺麗でかわいらしく音楽的にも工夫を凝らしたテキストがたくさんあります。

私は、障がい児の指導を始めたころ、それらをそのまま使いました。しかし、そのまま用いてもなかなか良いレッスンができず、手を加えて活用させていただきました。指導を進めるうち、障がい特性に配慮しスムーズに音楽レッスンに導入できるテキストが欲しい、と思うようになりました。どんなテキストだったら、興味を持って集中して見てもらうことができるのでしょうか。その答えはお子様から教えていただきました。

障がいを持っていても理解しやすい、と確信できる楽譜・テキストを考案し、この度出版させていただくことになりました。障がい児を教えることは、簡単なことではありません。一見課題が多く見えるお子様方を前に、何から始めたらよいか、戸惑われる場合が多いと思います。

彼らは素晴らしい音楽才能を秘めていますが、彼らの隠れた才能を引き出すことは、簡単にできることではありません。けれども、その才能を引き出す事ができた時に感じるその深く大きな喜びは、指導者として何にも代えることができないものになると思います。

お子様に愛情を持ち、音楽に情熱をもってお子様方を指導される先生なら、必ずその喜びを分かち合えることと思います。

私は、情緒障がいや知的障がいを持っているお子様方を、音楽世界に導く難しさを日々感じています。このテキストは、先生方の不安を少しでも取り除き、スムーズに楽しく音楽レッスンに入っていただくための、サポートテキストとして作りました。

もし、障がいをお持ちのお子様方が、先生の音楽教室に入門されようと訪ねられた時には、お受け入れいただければ嬉しいです。

最初は不安を感じても、お子様とのレッスンの中で、必ず方向性が見つかると思います。お子様もご家族様も音楽が大好きで、音楽に大きな可能性を感じているのです。

どうか、ご一緒にお子様の将来に音楽の夢を描いてください。音楽とお子様のご指導に人一倍の愛を持っている先生なら必ずできること、このテキストをその第一歩にご活用いただきますなら、これ以上の喜びはありません。

“音楽の楽しさで、こころと耳をひらく”とは

このテキストは、「自閉症スペクトラムで軽度の知的障害を持つ小学校低学年お子様が、初めて音楽レッスンを始める」ことを想定して作りました。障がいを持つお子様を音楽世界へ導くには、どんな方法が効果的なのでしょう。ご想像の通り、まずはお子様ととことん遊ぶこと、いかに遊びと音楽をつなげて楽しむかです。

まわり道のようにですが、日々のレッスンの中でこれが一番の近道とわかりました。一刻も早く音楽の指導に入りたいところですが、ぐっとこらえて、しばらくはとことん遊んでみて下さい。

このテキストには、私が実際のレッスンで使っている音楽を使った楽しい遊び、個人レッスンから発展させて、グループ活動でも使える遊びを盛り込んであります。どんどん先生方のアレンジを加えて、お子様と一緒にたくさん遊んでみてください。

障がい児には、「聴くべきことに集中できない」といった課題を持ったお子様が多くみられます。このテキストでは、音楽の楽しさ、豊かさを感じ、音楽への関心を高めることを意図した曲を配しています。お子様方は、まだ音楽のメロディ、リズムやハーモニーの美しさに気がついていないだけかもしれません。初めて音楽に触れるときから豊かな響きに触れ、音楽への興味を高めることができれば、聴くことにより注意深くなるでしょう。

私は障がい児の音楽指導において、単にお子様の音楽能力を高める事だけでなく、より注意深く聞くことができる耳を獲得する事、それにより日常生活でわかる事・出来る事を増やす事が大切だと考えています。

お子様自身が、耳からの情報をより得ようと耳の集中力が高まった状況を、私は“耳がひらかれた”と表現しています。“音楽の楽しさで、こころと耳をひらく”、これがこのテキストのコンセプトです。

このテキストの指導のポイント

このテキストは、全4巻の構成になっています。第1～3巻はお子様用、第4巻は指導書です。障がい児に限らず、お子様へのレッスンで一番難しいのは導入時期です。

このテキストの第1巻では初めてのレッスンで使える音楽あそび、第2巻と第3巻では実際ピアノに触れながら、中央のド～1オクターブ上のドまでの音を一つずつ学びます。

お子様用のテキストでは、「見やすい 気が散らない」をテーマに、視覚的に整理しお子様に必要な情報のみをのせました。

第4巻の指導書には、第1～3巻を指導するための指導案と曲をご準備しています。また指導書の巻末には、アセスメントシート、レッスンの記録表、さいころをお付けしました。付録の音符シールもぜひご活用下さい。

全4巻をセットでご覧いただき、先生方の素晴らしい想像力によって、お子様と先生のオリジナルの活動に発展させていただければ幸いです。

このテキストをお使い下さる皆様が生き生きと音楽を楽しまれることを、心より願っています。

あぶり〜れ刊行にあたって ご協力いただいた皆さま

この度、あぶり〜れ全4巻をまとめて刊行するにあたり、たくさんの方のご協力をいただきました。自分の力で良いものを書き上げる自信がなく、尊敬する3名の方に監修をお願いいたしました。

山形大学の宮崎昭教授には、私が障がい児のための音楽指導を始めた当初より、アジェンダやまがたの職員研修をお願いしております。障がいに対する専門知識やお子様に対する実践的な応対方法をご指導いただいております。この度は、障がいに対する記述をより正確に表現できるようご指導をいただきました。

作曲家の春畑セロリ先生には、音楽的に十分なものを持ち合わせない私に、より音楽的に充実したテキストとなるよう、楽曲や提示方法について全面的なご指導をいただきました。またこのテキストのために楽曲のご提供をいただきました。

福田りえ先生は、障がい児への音楽指導を30年間続けておいでです。そのキャリアの中で障がい児に対する音楽の指導方法を確立されており、この度は、テキストを使った障がい児に対する有効な音楽指導の方法、視覚的な提示方法をご指導いただきました。

皆さまがそれぞれの業務でご多忙な中、あぶり〜れの作成のためにお力をいただきました事、心より御礼申し上げます。当法人アジェンダやまがたの職員は、日常業務をこなしながら全面的にこの仕事にあたりました。佐藤開生をはじめとして、全員が全力投球してくれたことに、心より御礼申し上げます。そして私の家族は、家庭の仕事ができない私に代わって家を支えてくれました。

皆様のご指導で、私の稚拙なアイデアが形になりました。お一人おひとりに、心より御礼申し上げます。
ありがとうございました。

.....

「障がい」は、お子さんが持っているものではありません。お子さんの特徴が、まわりの環境と出会う中で生まれる現象です。平均的な発達しか経験してこなかった多くの人々にとって分かりやすい教材や教え方が合わないだけなのです。

アジェンダやまがた「音楽なかまプリモ」「音楽なかまアンジェリ」では、ひとりひとりのお子さんの特徴を理解して、それに合わせた活動を生み出し、このテキストを完成させたものと思います。このテキストを参考に、多くの方が、音楽とあそびを子どもたちと一緒に楽しむ中で、健やかな成長をしていただきたいと願っています。

山形大学教授 宮崎 昭

.....

ご縁あってアジェンダやまがたの職員のみなさんに音楽研修をさせていただいて以来、児玉先生はじめスタッフのみなさんがいかに真摯に障がい児のレッスンに、そしてご自身の指導スキル向上に取り組まれているか、感嘆とともに拝見しております。この「あぷり〜れ」は、そういった日々の研鑽、研究、試行錯誤の中から生まれた力作です。

全国でこどもたちの指導にあたられているピアノの先生方。もしも、ほかの生徒と少しちがった風変わりな感性の生徒さんが教室にやってきたときに、どうか臆することなく向き合ってください。そんなときの応援団として、この「あぷり〜れ」がお役に立つと思います。あきらめず、途方に暮れず、落ち込まず。このテキストに載っているたくさんの手法や指導書に書かれた情報をヒントに、それぞれの先生がそれぞれの生徒に対して、ご自分なりの指導法を編み出してくださいのが理想です。そのときこそ、この小さな「あぷり〜れ」制作プロジェクトが、全国で大きく花開くことになるのですから。

作曲家 春畑セロリ

.....

本書は障がいを持つお子さんにとって理解しやすく、そして指導者にとっては使いやすい教材作りを目指し、アジェンダやまがたの児玉千賀子先生と、作曲家の春畑セロリ先生と共に考えた教材です。

障がいを持つ方への音楽教材は数少ないのが現状ですが、それは障がいの特徴や種類が千差万別だからだと考えられます。しかし、できる限り生徒さんの特徴を把握し、その質に応じてこの教材を使われることで、生徒さんの個性が活かされ、さまざまな能力を引き上げる手助けとなることでしょう。

音楽は意図的に使うことで、いろんな問題を解決したり、今まで出来なかったことが出来るようになる可能性を秘めています。教材とはいくつかの「方法の提示」であったり、「ガイドライン」のようなもの。生徒さんそれぞれの可能性を引き出すためには、指導者の「愛とアイデア」、そして「くみ取るセンス」が必要となります。

ぜひこの教材を元に、生徒さんの未来を予想しつつ、指導法に工夫をこらし、そして試みてくださいね。この教材で子どもたちの能力が花開かれることを願い、そして心から応援しております。

FUKUON 福田音楽教室 主宰 障害者団体 ラポールハート代表 福田りえ

.....

このテキスト独自の指導方法の提案

アジェンダやまがた色音符音階 《ころ〜れ》

自閉症スペクトラムのお子様は、「独自の感覚（こだわり）を持っている」、「視覚・聴覚の情報整理が苦手である」等の特徴を持っています。

音楽能力の習得には、楽譜にある音符を正しく読みこなすこと「読譜」の力がきわめて大切です。障がいにより音符の読みにくさを持つお子様、また色に関して独自の感覚を持っているお子様に多く出会い、彼らの感覚の特徴を生かして読譜力をつけられないかと考えました。

「音階として並べた時、音符の位置を視覚的に認識しやすいこと」をテーマとし、私どもの音楽教室をご利用の障がい児48名を対象に、平成29年8～10月に官能検査を行いました。その検査結果により、最も正解率の高い色と音の組み合わせを確定し、独自に色音符音階《ころ〜れ》を開発しました。

「見やすさ」をポイントに作った《ころ〜れ》、ぜひ一度をお試ください。お子様方は、色にこだわりの強い方も多いと思います。無理なく、それぞれに合わせた形でお使いください。

「あぶり〜れ」1～4巻の裏表紙に《ころ〜れ》を載せましたので、ご参照ください。

色音符シール

「あぶり〜れ」には「色音符シール」が、付属しています。サイズは2種類あり、大サイズは1段譜用、中サイズは2段譜用となっております。大サイズ、中サイズともに全音符、2分音符、4分音符用のシールをそれぞれ8色でご用意しております。あぶり〜れ1～3巻の音符に直接貼ってご活用ください。

お子様方がスムーズに音符が読めるよう、少しでもお手伝いになればと思います。

音価の理解

「あぶり〜れ」では、全音符から導入し音価の理解を進めます。全音符、2分音符、4分音符の順に進みます。（なお、休符は「あぶり〜れ」では扱いません。）「あぶり〜れ」では拍子記号は使いませんが、4分の4拍子を設定しています。まずは全音符をカウントする時に、「た」「い」「や」「き」と言いながら数えましょう。

音符の下には、いつもたい焼きの絵があります。絵の中に、「た」「い」「や」「き」と書いていただいてもよいですし、数字に強いお子様には、「1」「2」「3」「4」、ご自分の名前「ゆ」「う」「す」「け」「さ」「い」「と」「う」、

好きなもの「は」「や」「ぶ」「さ」など、なんでもお子様に合わせた言葉を入れてご活用ください。もちろん塗り絵しても良いですし、先生とお子様で納得できる使い方を探してみてください。

「あぶり〜れ」では、「たいやき」を繰り返し使う中で自然に4拍を数えられるようになり、自然に音価がわかるようになる事を目的にしています。

例1 『あぶり〜れ 1巻』 42p (本書 67p 対応) [リズムのおけいこ①]

21. リズムのおけいこ ①

42

例2 『あぶり〜れ 2巻』 38p (本書 75p 対応) [れんしゅう③]

れんしゅう ③

38

障がい児に対する音楽レッスンポイント

障がいがあることって、フツウと何が違う？

障がいがある事とない事、何が違うのでしょうか。どんな人も特徴を持っているし、どこまでが個性で、どこからが障がい？ 毎日をお子様方と過ごす中で、あれ？っと思うことがたくさんあります。

私の音楽教室には、こんなお子様がいます。

あつし君（小学1年生） いつも「あつい！」が口癖。真冬に、Tシャツ短パンでそれでも汗をかいている。

まきちゃん（中学1年生） カミナリや雨が苦手なまきちゃん。とてもよく晴れている日の夕方、「カミナリがくるよ！」と泣いているので、「晴れているし、今日は大丈夫だよ」と言った5分後、みるみる雨雲が立ち込めて、カミナリが鳴り始める。

よしと君（幼稚園年中） 自分では結構大きな声で話しているのに、声の大きな人が怖い。また、小さな音でも、不意になる音やスピーカーなど話し手が見えないものからの音が怖い。

あつしさん（高校2年生） ほとんどの米の銘柄を食べて言い当てることができる。いつも食べている銘柄以外の米は受け入れられず、給食や外食などでは米を食べられないことが多い。

しょうた君（小学2年生） 「青」の色がとても好き。青いものを見つけると、他の物は目に入らなくなる。家庭では、青色の物を隠しているのので、外で見つけると余計に離れられなくなる。

などなど...

障がいがある方には、いわゆるフツウの人から見ると、とっても不思議なことがいっぱいあるように見えます。五感が感じやすく、感情や感覚の振れ幅が大きい。体で感じる「感覚」は、フツウの人の「感覚」とかなりの「ずれ」があり、ある部分が敏感だったり、または鈍感だったりします。

誰も、自分と社会の基準との「ずれ」に折り合いをつけながら生活をしています。障がいがあるということはこの感覚の「ずれ」が大きいということです。この「ずれ」が大きいほど、ご本人もご家族様もストレスが大きく、生活のしにくさを抱えていらっしゃいます。

もう一つ、障がいを持つお子様に顕著な事があります。

「見る」、「聴く」の感覚にとっても敏感なケースが多いですね。これも感覚の違いからくるものです。目の前にある事しか目や耳に入らなくなり、全てを忘れて目の前の事だけに集中してしまったり、逆に興味のないものは全く目や耳に入らない様子に、もしかして見えていないのだろうか？ 聴こえていないのだろうかと思ってしまうこともあります。

難しいな、と感じられますか？ この特性に配慮し、目の前の環境・情報を整理すれば、「今やるべきこと」に集中することも可能なのです。お子様それぞれの「障がい名」を知り、障がい特性を理解することはとても大切です。さらに、どんな感覚の違い・特徴があるのかを上手に観察して、どんな場合に集中することが出来るかを把握することで、良いレッスンに結びつきます。

はじめてみましょう。

初めて、障がいを持つお子様のレッスンを依頼された時、何を心配なさいますか？

- いつものレッスンと同じ方法では、上手くないのだろうか？
- 何を変えれば、良いレッスンになるのだろうか？
- 障がいについての事は勉強したことがないので、引き受けても十分なことができるのだろうか？
- 保護者様は、どのようなことを望まれているのだろうか？

たくさんの不安があると思います。

障がい児を指導する時、一番大切なことは事前準備です。定形発達のお子様でしたら、初対面の時にご家族様からいろいろお伺いして、今後のレッスンの進め方を決めて行くことが普通でしょう。

しかし障がいを持っているお子様の場合、初めてのレッスンでつまずいて、レッスンを始める事が難しくなったり、スムーズに進まなくなったりすることがあります。

それを避けるためには、事前にある程度の準備をしておくといいでしょう。必要なのは、次の3つの準備です。ちょっと面倒に思われるかもしれませんが、段取り八分！です。

レッスン前の準備

- 1 お子様について詳しく聞いておきましょう。
- 2 レッスンに必要なものを用意し、しっかり確認しましょう。
- 3 レッスンの流れをシミュレーションして、気持ちの準備をしておきましょう。

アフターフォロー

次のレッスンへ向けて、準備をしましょう

レッスンの準備1

お子様について詳しく聞いておきましょう。事前準備で一番大切なことは、お子様の情報をなるべくたくさん仕入れる事です。良いレッスンをするためですから、ご紹介者やご家族様から、お子様に関しての情報を積極的に集めましょう。

- どんな障がいを持っているか、そのお子様の持つ一番大きな課題は何か
- 情緒障がい、知的障がいの程度
- コミュニケーションの方法
- 文字の読み書きや数概念の獲得などの知的水準の程度
- 好きな音楽、アニメ、キャラクター、お気に入りの遊び
- どんな時にパニックが起きるか、またパニックを収める方法

などを把握することが、レッスンの事前準備になります。少しでも多く把握できると、レッスンの組み立てもしやすいですね。

お子様について得た情報や、発達の状況、音楽への関心の程度、当日のご様子などを記録することをおすすめします。初めてお会いした際にお子様の状況を記録することを、「**アセスメント**」と言います。

アセスメントシート1 (P88 ~ 89)

巻末に、お子様の現状を記録する様式 **アセスメントシート1** があります。たくさんの項目がありますが、全てを記入する必要はありません。

アセスメントシート 1-1 は、初めてお目にかかった時に、保護者様に書いていただきます。

アセスメント 1-2 は、保護者様より内容を伺って先生方がお書きください。障がいの事やご家族の事など、お伺いしにくい場合もあると思いますが、ご家族様の様子を見ながら、お子様のレッスンに必要なと思われることを、少しずつ聞いてゆくのも方法です。

アセスメントシート2 (P90)

アセスメントシート2は、保護者様にお持ち帰りいただいて、ご家庭でご記入いただきます。

私はこの機会に、「ご家族皆さんで、お子様が将来音楽で何をできるようになってほしいか」を皆さままで話してくださいね、とお願いしています。

レッスンの準備 2

レッスンに必要なものを用意し、しっかり確認しましょう。

① レッスン室の環境を整備しましょう

- 情緒の発達に課題を持つお子様は、目の前にあるものに気が向いてしまい、取り組むべき課題に集中することが難しいという特性を持っています。良い集中を引き出すにはレッスンに必要な物のみをそろえる必要があります。
- 通常の音楽レッスンに必要なものは沢山あります。対象のお子様のレッスンで使わないものは、引き出しや、扉のある棚に片づけましょう。扉のない本棚にはカーテンなどの布をつるして本などの中身を隠すだけでも、気が散らなくなります。

② 見やすい時計を準備しましょう。時計以外でも、お子様の理解に合わせ、レッスンの始まりと終わりを示すものを準備します。

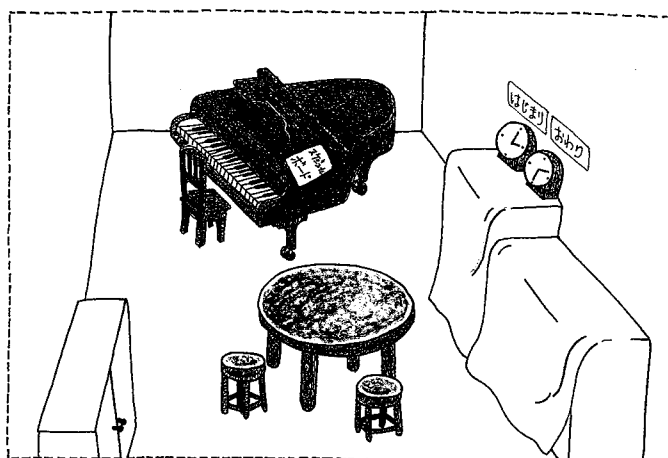
- 時間感覚があるお子様に関しては、数字、時間の理解程度、デジタル、アナログどちらの表示がわかりやすいかなどを事前に把握しましょう。
- レッソンの「開始時間」「終了時間」をわかりやすく提示することが大切です。
- レッスン時間は30分程度が目標ですが、集中が難しい様子でしたら、初めは5分から始めましょう。あと一頑張り！ と無理をさせずに、余裕を持って終了することから始め、徐々に時間を延ばしてゆきます。

③ 先生のお顔や、レッスンの部屋、お宅の外観などの写真を用意しておきましょう。

- 初めてのレッスン時に、持って帰っていただけるように準備しましょう。
- もし初回のレッスンの前に必要との申し出があれば、写真・データなどをお送りしましょう。

レッスンプログラムを予め考えておきましょう。

- プログラムを考えると、レッスンの流れに「大きな枠」を設定します。
- いつも使う「始まりの歌」、「終わりの歌」等を決め「大きな枠」を設定することは、レッスンの始まりと終わりをよく認識できるのでとても有効です。
- 設定した「枠」は、ある程度の期間変更しないで様子を見ましょう。少し変えても大丈夫、と感じた頃に徐々に変えてゆきましょう。
- レッソンのプログラムはお子様提示できるよう、ホワイトボードや紙に整理しておきましょう。



レッスンの準備3

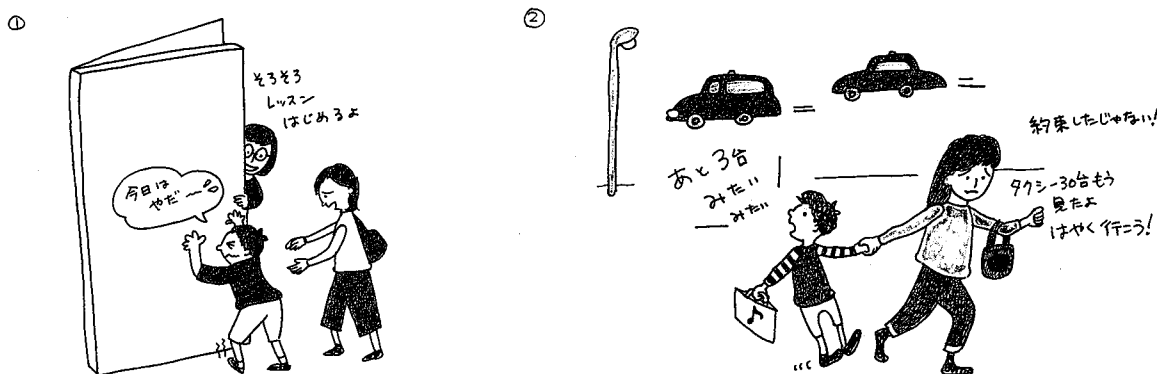
レッスンの流れをシミュレーションして、気持ちの準備をしておきましょう。

お子様が到着されてからの大まかな流れを考えておきましょう。

いろいろなシミュレーションしておく、すぐに対応できますね。

レッスンに入れないパターン

- 時間通りに到着しない。スムーズに先生のお宅に向かえず、どこかで戸惑いご家族が困っているかもしれません。
- 先生のお宅に到着したが、入室できない。
- お母様に甘えてしまい、全くこちらを見てくれない。
- 用意している時間がもたず、緊張からか帰りがたがる。



帰れなくなるパターン

- 不思議なことに、レッスン室に入るのを嫌がっていた子に多いパターンです。気持ちの切り替えがとても苦手なお子様が、帰り際に帰る事が難しくなる場合があります。
- 理由は様々ですが、決めた課題が終了しなかった、合格できなかった、など音楽レッスンの内容に関わる場合。また何かにこだわり、手にしたものを持って帰ろうとしたりします。

何か持って帰ることが出来るものを準備するのも手ですが、毎回の習慣になってしまいますので、お話で理解できるように促せるとよいですね。

レッスン内容に関わることでしたら、課題をお子様にとって簡単なものに設定して、初めのうちは必ず合格、終了するように組み立てる事が大事です。



アフターフォロー

しっかりした準備の甲斐あって、無事に初めてのレッスンが終わりました。ほっと一息ですね。

ここで大切なことが一つあります。当日のお子様の状況を記録に残すことです。次のレッスンの組み立ては、前回の反省から生まれてきます。

かなり面倒に感じる方もいらっしゃると思いますが、音楽レッスンの進捗だけでなく、お子様の機嫌の良し悪し、保護者様のご様子等も併せて記録しておく、後々助かることが多いですね。

- レッスン前の準備1で記入していただいたアセスメントシートを完成させておきましょう。
- 加えて、初めてのレッスンの様子、わかる範囲で良いので記録しておきましょう。下の表 (p91) をご参考ください。
- 毎回でなくてもかまいませんが、お子様のご様子を定期的に記録しましょう。

こころと、耳をひらくテキスト
あぷり〜れ

レッスンの記録				
ふりがな				記入日
お子様のお名前	様			平成 年 月
レッスン日時	機嫌・体調 悪い 1 → → → 5 良い	集中の度合い 低い 1 → → → 5 高い	特記事項	保護者様のご様子
日 時 から まで	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
取り組んだ課題				
日 時 から まで	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
取り組んだ課題				
日 時 から まで	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
取り組んだ課題				
日 時 から まで	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
取り組んだ課題				
日 時 から まで	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
取り組んだ課題				

様々な障がい児のタイプの例

①初めての場所や新しいことは大嫌い、たろう君

知らないことを経験することが苦手なタイプのお子様には、事前の告知や、モデリングが大切です。もし事前に情報があるとスムーズにできるお子様の場合は、レッスンする場所や交通手段をあらかじめご自宅でシュミレーションしていただくようにご家族に依頼することも、初回のレッスンでつまづかないための一つの方法です。

それでもレッスンルームに入れないこともありますし、レッスンルームでお好きなものを見せても全く反応がない、話しかけても講師を見ない、ピアノを弾いても興味を示さないということもあります。レッスン初めの数回で堂々巡りになってしまうと、教える方の気持ちが续かなくなりますが、あと一頑張りです。

ご家族と情報を共有しながら、玄関まで入れたならそこでキーボードで一曲聴いてもらう、また車から降りられないなら打楽器を持って車に乗せてもらい、ご家族の運転でご近所1周する、などいかがでしょうか。

お子様の世界にまずは入れていただく。その次は、先生の音楽世界に、少しずつお子様をお招きしてください。



②何事も予定通り！決まったことが大好きなしゅん君

スケジュールが決まっていると安心でき、それをこなすことで自分を保っているタイプです。

まずは、レッスンの初めに視覚的理解できるよう、レッスンボードや予定表で、時間とやるべき課題を確認しましょう。このタイプのお子様はいったん決めてしまうと、それ以外に取り組むことが難しいので、すべてが固定化しないうちに、徐々に変化球を入れます。強い拒否や抵抗を示す場合も多いですが、どこかにお子様への入り口、お互いに折り合えるポイントがあるはずですよ。

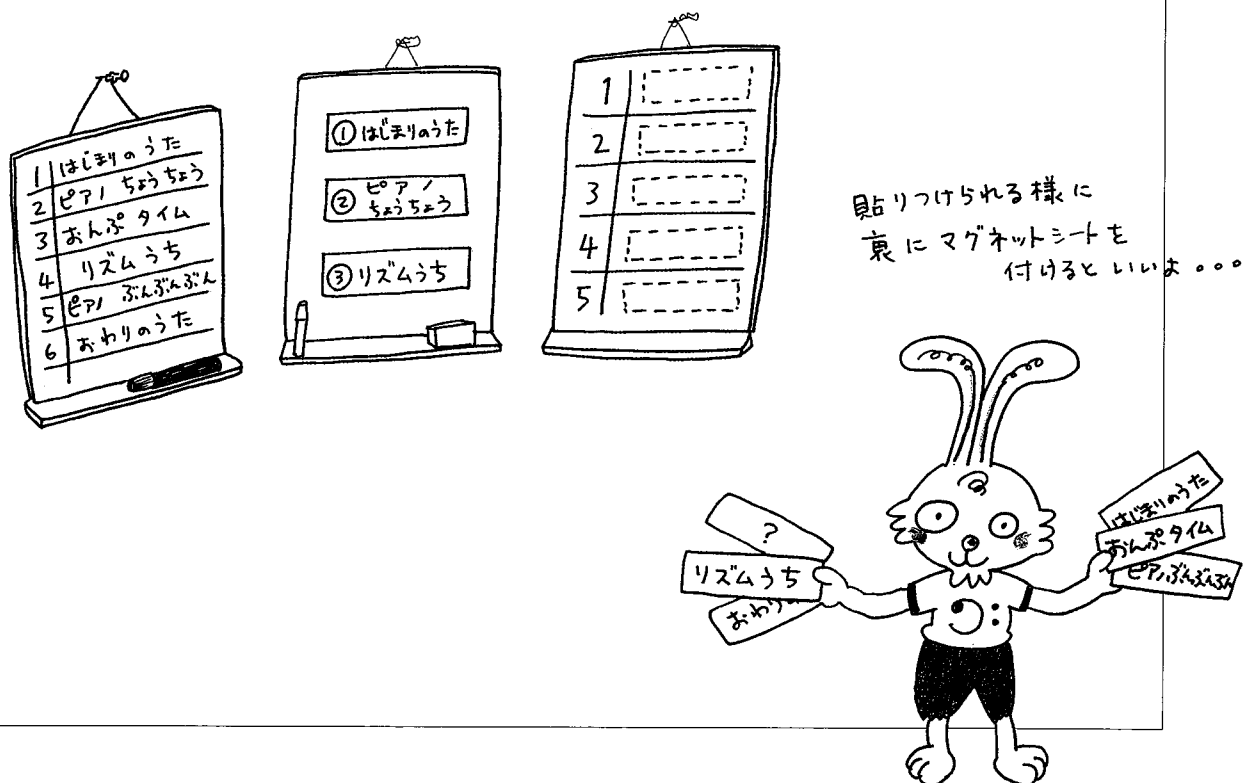
まずは今日のレッスンスケジュール、取り組むテキストや課題を明確にすることが大事です。理解しやすい提示の方法はそれぞれなので、お子様に合わせた工夫をお願いいたします。

Ex1 当日のスケジュールは、ある程度先生が設定してホワイトボードなどに書いて準備しておく。
(次のレッスンのプログラムを、予めお渡しし、気持ちの準備をしていただく事も良いですね。)

Ex2 取り組む課題を紙に書き、マグネットシートに貼り用意しておく。それをお子様本人が、どの順番で取り組むかを決めて、当日のレッスンを行う。

Ex3 練習するテキストの表紙の写真を撮り、プログラムボードや厚手の紙に貼る。

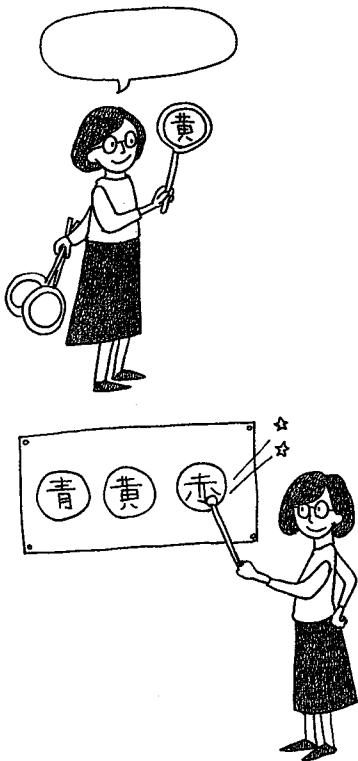
Ex4 取り組むテキストや活動の写真は、その都度1枚だけを提示する。今やるべき事に集中できるようにする。



③間違いは絶対したくない完べき ゆたか君

「間違ってるよ」と指摘しようものなら、プチンと切れてしまうお子様がいます。かといって、間違っているのにいつでも「それでいいよ!」とも言ってられません。ご家族様に、家庭や学校での指摘の仕方を伺い、まずは同じ言葉遣い・やり方でトライしてみましょう。

Ex1 信号になぞらえて、「青信号(○)」「赤信号(×)」「黄色信号(△)」などの言葉だと受け入れられるケース。



Ex2 自分で間違いに気が付くまで何度でも弾かせる。はっと気が付き、間違っていたことを受け入れられるケース。



Ex3 講師のデモ演奏を聞かせて、自分の演奏との比較により気が付くように仕向けるケース。

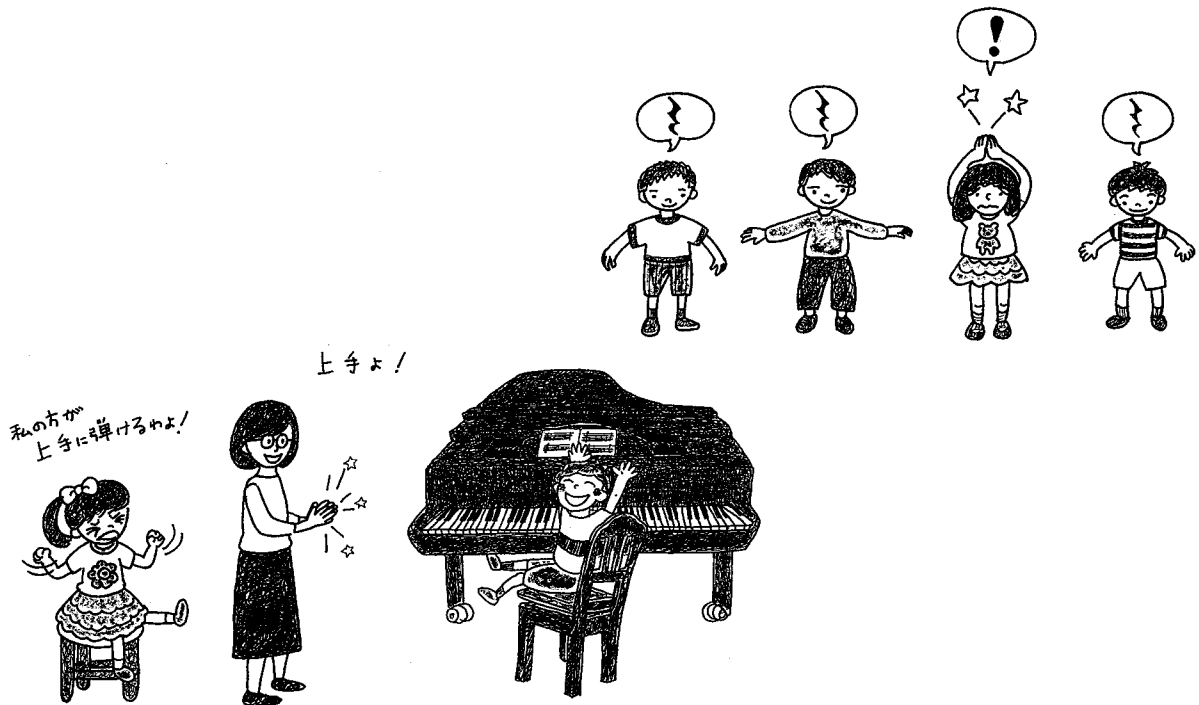


ピアノの課題では、1曲の途中、間違ったところから弾きなおすことを極端にいやがるお子様が多いですね。このタイプのお子様は、たとえ曲の最後の音を間違っても、必ず曲の頭から弾き始めます。そしてまた同じところで間違い手が止まってしまうのですが、それを延々と繰り返すお子様もいます。その場合は、お子様の主張のある程度受け入れながら、頃合いを見て、「そこだけ練習した方が、もっともっと上手になるよ」と勧めるようにしてみましょう。練習してほしいところを色でマーキングする、その部分だけ抜き出して提示する方法もあります。

④いつでも一番でないと気が済まない みどりちゃん

個人レッスンだと目立たないのですが、グループのレッスンになると、ちょっと難しいタイプです。とにかく何でも一番でないと気がすみません。

グループレッスンでは、なるべく勝ち負けが起りにくい課題を用意しましょう。それぞれのメンバーが必ず1番になれるものを用意するのもよいですね。そろそろ「一番になれないこと」が受け入れられそうだな、と感じたところで、パターンを拡大すると意外と受け入れられることが多いです。



⑤いつも体のどこかが動いている、忙しいゆうだい君

レッスンルームでは、ほとんど着席する事はありません。

いつも体のどこかが動いています。

座らないと、ピアノは弾けない?

そんなことはありません。まずは、鍵盤で遊びましょう。

《鍵盤早押し(鳴らし)ゲーム》をしてもよいし、白鍵・黒鍵を数えたり、先生のピアノに合わせてリズム体操をしてもよいでしょう。

「座って弾かせる」ことに執着していると、お子様も教える方もつらくなってきますので、ご家族様にも説明しながら、打楽器遊びや体操を十分行い、それからピアノ遊びを導入しましょう。レッスンを長く続けるためには、一番大切なところになります。ぜひお子様の気が済むまで時間をかけてください。



「あぶり〜れ」全4巻で、どのくらい弾けるようになるの？

現在日本では、伝統的なバイエルやメトードローズから現代的な感覚を盛り込んだものまで、初心者向けの素晴らしいテキストがあります。「市販されている初歩的な教材にスムーズに入る準備をすること」のために作ったテキストが、この「あぶり〜れ」全4巻です。

	子供のバイエル (上巻)	メトードローズ・ピアノ教則本 幼児用 (上巻)	パーナム ピアノ・テクニク
出版社	全音楽譜出版社	音楽之友社	全音楽譜出版社
作者	フェルディナンド・バイエル	作者：エルネスト・ヴァン・ド・ヴェルド 訳編：安川加寿子	作者：エドナ・メイ・パーナム 監修：大島正泰、訳・解説：中村菊子
イラスト	2色刷りのイラストが、少し入っています。	曲とタイトルに合わせた、可愛い2色刷りのイラストが所々に入っています。	棒人形(モノクロ) ユニークな棒人形が運動するイラストで、曲の練習目的をイメージさせています。
シリーズ	上・下巻	上・下巻	『導入書』・『テクニク』1～4
歌詞	歌詞がついている曲はありません。	フランスでよく知られた童謡を使っていますが、歌詞はありません。	特に、歌は使われません。
楽譜の特徴	初めは高音部譜表だけ、次に低音部譜表だけを読み、高音部譜表の2段譜に進みます。 まずは高音部第3間の「ド」を読むことから始めます。右手の1の指を置きます。 その次に、高音部譜表の第2線「ソ」に左手1の指を置く練習をします。	初めは高音部譜表だけ、次に低音部譜表だけを読み、大譜表に進みます。 高音部譜表第3間の「ド」を読むことから始めます。右手の1の指を置き、左手はユニゾンで1オクターブ下において弾きます。 その次に「ソ」に1の指を置くポジションを練習します。 低音部譜表は、第4線の「ファ」を読むことから始めます。「左手の2の指」、「右手の4の指」でのユニゾンの練習を始めます。	大譜表から始まります。 基本的には、右手は高音部譜表下第1線の「ド」に1の指を、左手は低音部譜表第2間の「ド」に5の指を置いて始まりユニゾンや同じ音型の発展で進みます。
五線の大きさ、 音符の大きさ	五線の大きさ： 約 20mm(上巻最初) 約 13mm(上巻最後) 音符の大きさ： 直径約 5mm(上巻最初) 直径約 3mm(上巻最後)	五線の大きさ： 約 18.5mm(上巻最初) 約 10mm(上巻最後) 音符の大きさ： 直径約 4.5mm(上巻最初) 直径約 2.5mm(上巻最後)	五線の大きさ： 約 8mm 音符の大きさ： 直径約 2mm
調性	上巻では、八長調と、ト長調を扱います。	上巻では、八長調から、ト長調までを扱います。	導入書、1巻では八長調が基本です。 半音階の練習や、「ド レ ミ♭ ファ ソ」などで臨時記号が登場します。
特徴	言わずと知れた定番テキストです。 お子様を古典期(ソナチネ等)へ自然に導きます。 何でも決まったことが得意で、初めにいろいろな様式に触れると混乱することが予想できるお子様は、特に使いやすいテキストで、お勧めです。 上巻では、お子様パートは高音部譜表のみですので、様々な音部記号での混乱を避けることができます。	よく使われる、フランス生まれの定番テキストです。 歌いやすい旋律やフランスの童謡が多く、ソルフェージュも一緒にできます。特に幼児用(上下巻)では、大きな音符が使われています。 すぐにユニゾンに入れるお子様には、お勧めです。高音部譜表を読む練習より、低音部譜表を読む練習が少なめになっていますので、お子様によっては補う必要があるケースもあるかと思えます。	障がいをお持ちのお子様は、とても集中が短く、見通しがつかないことを嫌がる場合が多いですね。 このテキストは、一つ一つの曲がとても短く、4～12小節程度です。 また曲ごとにテーマが決まっていますので、集中が短いお子様や、家庭での練習が難しく、毎回合格がないと落ち着かないお子様にピッタリです。

市販のテキストの導入として「あぷり〜れ」をお使いいただくことで、初歩の技術の獲得を確かなものにしていただきますなら幸いです。

びあのどり〜む	みんなの オルガン・ピアノの本	Miyoshi ピアノ・メソッド
学研プラス	ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス	カワイ出版
田丸信明編著	記載なし	三善晃
永田萌によるカラーの夢あふれるイラストが豊富で、まるで画集のようです。絵の中心は、子供か動物。曲と関連付けて、自由にイメージを広げられるように構成されています。	子供向けのカラーのイラストが多く、1巻は、手の形のなぞり書き、音符の色塗りから始まります。	白黒で、イラストはないが、導入時の姿勢やポジションの説明が写真で解説されています。
『びあのどり〜む』1〜6他	1〜4巻	全12巻
1巻から2巻の初めまでの曲は、全て歌がついています。	1, 2巻では、ほとんどの曲に歌がついています。	歌はありません。
大譜表、中央八音展開(ミドルC)5指ポジションから始まります。右手も左手もドを第1指で始めます。 1巻の最後は、 右手 ド(1の指) レ(2の指) ミ(3の指) 左手 ド(1の指) シ(2の指) ラ(3の指) まで進みます。	大譜表、中央八音展開(ミドルC)5指ポジションから始まる。 右手も左手も「ド」を第1指で弾くことから始まります。 1巻の最後は、左手は低音部譜表の第1間のラ、右手は、第4線のレまでを使用します。	1巻から大譜表を使用するが、生徒は高音部譜表のみ読み、先生は低音部譜表の伴奏を弾く形。1巻の半ばから、生徒が低音部譜表を読み、先生が高音部譜表の伴奏を弾く形に移行します。 中央の八音から展開します。まずは右手左手3の指を使って鳴らすことから始めます。直ぐに5指を使います。巻末には、様々なポジションに移動しながら弾く練習をします。
五線の大きさ： 約12mm 音符の大きさ： 直径約3mm	五線の大きさ： 約23mm(1ページ1段の場合) 約18mm(1ページ2段の場合) 音符の大きさ： 直径約6mm(1ページ1段の場合) 直径約4.5mm(1ページ1段の場合)	五線の大きさ： 約11.5mm(1巻) 音符の大きさ： 直径約3mm(1巻)
1巻はハ長調、イ短調 2巻 ハ長調が加わりますが、調号はなく、黒鍵は使いません。 3巻ファ#ミ♭が登場。	1巻は、ハ長調、ト長調まで導入しますが、黒鍵は弾きません。	1巻では、先生の伴奏は様々な調や借用和音等を使いますが、お子様は白鍵のみで弾けるように設計されています。
永田萌の芸術的なイラストが印象的な、美しいテキストです。 障がいを持ったお子様に使用する時には、「イラスト」は重要ポイントになります。絵を見ながら、想像力を高められるお子様には、最適のテキストですが、色や形にとらわれがちなお子様にとっては、楽譜に集中することが難しくなります。 ゆっくりじっくり、右手と左手の交互奏に取り組みます。2巻に入ってから、両手奏に進むテキストです。 両手で違う旋律を弾くことが難しい場合には、特にお勧めです。	親しみやすく、かわいいイラスト、譜面はとて大きく見やすいです。 障がいを持ったお子様には、イラスト・先生のパート・ポジションや記号の説明など、楽譜以外の情報が多いので、ある程度の集中力があるお子様に向くテキストです。 ポジションの移動が多め、1巻でCFADGポジションまで進みます。 そのことで混乱しないように、しっかりとした説明が必要です。	常に先生との連弾で進みます。音の響き、広がりを感じながら、しっかり耳でハーモニーを認識できるお子様にお勧めです。 初めに写真付きでフォームの説明、脱力の説明が詳しくあり、視覚優位のお子様には、特に理解しやすいテキストです。また弾き方の説明も随所にあるので、理解しながら進めるお子様には、良いですね。

はじまりの歌 おわりの歌

情緒に障がいがある場合、いつも動きがあり落ち着かないことが多いですね。また軽度の障がいで言葉がわかるお子様なのに、何度同じことを言ってもわかってくれないことがあります。

どうしてなのでしょう。学校や特別支援の現場では、先生方が様々な工夫を凝らしています。一日の流れを写真に撮り、それをスケジュールの順番で提示する、その活動の写真の脇に始まる時間を添えるなど、いかにお子様方にわかりやすくスケジュールをお伝えするか、よく考えていただいています。

これは、いわゆる「構造化」という方法です。集中が難しいお子様や文字での把握が十分ではないお子様も、物事をわかりやすく提示することで、落ち着くことが多いのです。

この方法を応用した、音楽のレッスンならではの「構造化」の方法があります。難しく考える必要はありません。「音楽レッスンの構造化」とは、レッスンでの音楽のタイミングに決まりを作り、レッスンの流れをわかりやすく提示することです。

まずは、「いつも同じ曲で始まり、終わる」。これが大事です。そして、レッスンの始まりと終わりを理解、記憶してもらうためには、対象のお子様の理解にあったシンプルな構造の曲が必要です。

次に、「レッスンプログラムの項目は、毎回変えない」。これも大切です。教える立場からは、いつも同じ曲では申し訳ないような気持ちになってしまいます。ずっと続いているなあ、というときには、曲のコードや使い方を少しずつ変化させるなどのちょっとした工夫で、曲を展開してゆきましょう。新鮮なレッスンにつながるが多くあります。

「いつも同じ流れ、同じ曲があること」は、障がいが重度のお子様だけでなく、比較的軽度の、良くお話が通じるお子様にとっても、安心感につながります。

はじまりの歌 1

この曲は、幼児のクラスのグループ活動の「朝の会」のために作った曲です。

楽しくお友達全員の名前を呼んでいきます。元気いっぱい「おはよう」の声がそろったところで、音楽レッスン開始です。

④に入ると、一人ずつお子様の名前を呼び、タッチをします。

お名前を呼んでもすぐに先生のところに来てくれないかもしれません。左手をコードでつなぎながら、タッチができるタイミングをつかみましょう。

作詞・作曲 児玉千賀子

♩=108 **A** D Em A7 D

おはよ うおはよう せんせい おは よ みーなさん おはよう

The musical score is written for piano in G major (one sharp) and 4/4 time. It consists of two staves: a treble clef staff for the melody and a bass clef staff for the accompaniment. The melody starts with a quarter note G4, followed by quarter notes A4, B4, and C5. The accompaniment starts with a quarter rest, followed by quarter notes G2, A2, and B2. The score is divided into five measures, each with a specific chord indicated above: D, Em, A7, and D. The lyrics are written below the treble staff.

G D **B** A タッチ

きょういちにちう たではじまるよ ○○○ちゃん おはよう ○○○ちゃん

タッチ タッチ 1. タッチ

おはよう ○○○ちゃん おはよう ○○○ちゃん おはよう

2.A A7

みなさん おはよう おはよ

C D Em A7 D

うおはよう せんせい おはよう みーなさん おはよう

G F#m B7 A7 D

みんなでげんきにこえをあわせ (1 2 3 ハイ!) おはよう

はじまりの歌 2

この曲は、童謡が大好きな6歳の女の子に作った曲です。

穏やかにゆったりと歌ってあげてください。

作詞・作曲 児玉千賀子

♩=66

CM7

FM7

G7

C C^{onB}

さーん さーん きょうもまつ たよ

Am

FM7

Am7

Dm7

G7

CM7

さーん さーん いっ ぱい あそ ぼーう

おしまいの歌 1

中学生の男の子のために作った曲です。

まだはっきりと言葉でのコミュニケーションはできない彼ですが、とても短い単語だとわかります。

同じ言葉の繰り返しで、受け入れられる言葉や音楽の幅を増やしてほしいなと思います。

作詞・作曲 児玉千賀子

♩=92

F

G7

C

Dm7

Em7

これで これで おしまい

Em7 Eb7

Dm7

Dm7(b5)

CM7

これで これで おしまーい

おしまいの歌 2

静かに気持ちを整えて活動を終えたいときの曲です。

個人レッスンでは最後のフレーズにお名前を入れてください。

音楽の余韻をお子様と一緒に味わって、次回のレッスンへ気持ちをつなげます。

作詞・作曲 児玉千賀子

♩=80

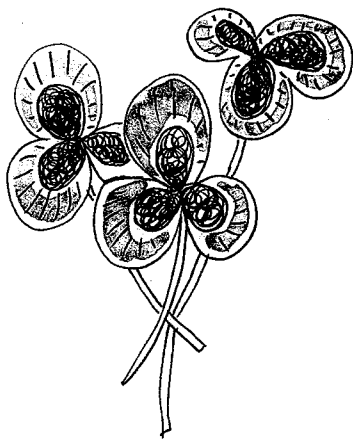
The musical score is written in 3/4 time with a tempo of 80 beats per minute. It consists of four systems of music, each with a treble and bass clef staff. The lyrics are written below the treble staff. Chord symbols are placed above the treble staff. The score ends with a double bar line.

System 1: Chords: C, Am7, F#m7(b5), G7, E7. Lyrics: きょうも たくさん うたった ねえ

System 2: Chords: Am7, F, C^{on}G, G. Lyrics: もっと いっぱい あそびた いね

System 3: Chords: G#dim, Am7, A7^{onC#}, Dm. Lyrics: きょうは これで おしまい ね

System 4: Chords: D#dim, Em, A7, Dm7, G7, C. Lyrics: またまっ てるよ さようなら さん



第1巻 お子様用テキストと 第4巻 指導書の対応

こころと、耳をひらくテキスト

あふり〜れ

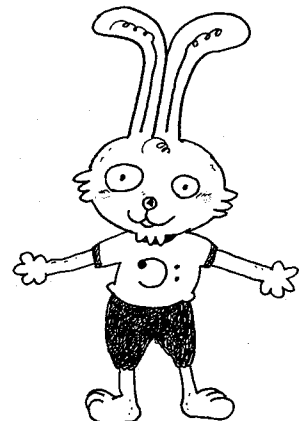
🎵 こんにちは！ わたしは、とおん

🎵: ぼくはへおん

🎵 おんがくのおそびがたくさんあるよ！

🎵: 一緒にあそぼうね！

だい 1 かん



コンセプトと構成

何か新しいことを始めるときは、誰でも緊張します。

初めてレッスンルームにおいでになるお子様、お母様も期待と不安で緊張しています。

音楽の楽しさで、リラックスすることから始めましょう。

音楽を使った楽しい遊びをたくさんご用意しています。

どうやってお子様を楽しませましょうか？

まずは、先生自身がお子様と同じ気持ちで楽しめることです。

どんどんすてきな遊びに発展させてください。

第1巻：第4巻対応頁一覧表

第1巻 項目	頁	第4巻 対応頁
1. こんにちは	4	29
2. みぎて ひだりて どんなかたち？	5	29
3. どうやってきましたか？	6	30
4. せんせいのおへやにあるものは？	7	30
5. おとはいくつあるかな？	8	31
6. いきものをさがそう！	10	32
7. ねことねずみ どっちどっち？	12	38
8. どっちかな？ どれかな？	14	42
9. へんしーん あそび	16	44
10. まねっこポーズ あそび	18	46
11. なんのがつきかな？	20	48
12. たかいおと ひくいおと	22	50
13. げんきなメリーとしょんぼりメリー	24	52
14. だいすきなうたをみつけよう	26	54
15. おんぷ で あそぼ（ぜんおんぷ）	28	62
16. おんぷ で あそぼ（にぶおんぷ）	30	62
17. おんぷ で あそぼ（しぶおんぷ）	32	62
18. たいやきのうた	34	64
19. ことばにあったおんぷはあるかな？	38	64
20. おんぷすごろく	40	66
21. リズムのおけいこ①	42	67
22. リズムのおけいこ②	43	67
23. リズムのおけいこ③	44	67
24. リズムのおけいこ④	45	67
25. リズムのおけいこ⑤	46	67
26. リズムのおけいこ⑥	47	67

1. こんにちは

あぶり〜れ だい1かん [p.4 - p.5 対応]

1. こんにちは	2. みぎて ひだりて どんなかたち？
わたしの なまは つぎな たべもの つぎな じゆつ	
せんせいの なまは つぎな たべもの つぎな じゆつ	

ねらい

とても緊張しているお子様が、リラックスして興味を広げられるように導きます。
まずは、先生に親しみを持っていただき、受け入れていただきましょう。

指導ポイント

初めての出会い、様々なご縁に感謝して、このかけがえのない瞬間を大切にしたいですね。
今日の一番大切なことは、リラックスです。
お子様はとても緊張しています。ご家族様もどうなるか、不安でドキドキしていることもあるでしょう。
すぐにお子様に話しかけず、ご家族様とお話する中で次第に緊張を解いてゆくとよいですね。
先生の自己紹介部分は、事前を書いておきましょう。
ご自分の写真をお子様のテキストに貼ることは、ちょっと抵抗あるかもしれませんが、イラストでもかまいませんよ。
お子様に先生をしっかり覚えてもらいましょう。

2. みぎて ひだりて はどんなかたち？

ねらい

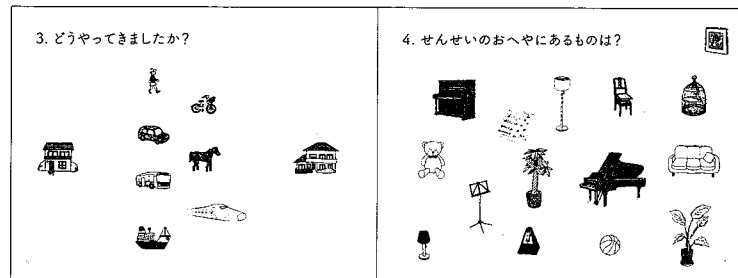
今日、お子様がレッスンを始めるときの手の大きさを、書きとります。
そして、3巻すべて終えた時にもう一度別の色で手形を取りましょう。
良い成長の記録になります。

指導のポイント

自分の体のイメージ《ボディイメージ》が十分でない場合も多くありますので、お子様自身が自分の「手」というものを認識するために手形を取り、よく確認してもらいましょう。
もし、お子様自身が手を紙の上で広げたり、書きとったりすることが難しい様子でしたら、先生がまず見本を示してください。

3. どうやってきましたか？

あぶり〜れ だい1かん [p.6 - p.7 対応]



ねらい

初めての場所が苦手なお子様が、レッスンに早く慣れるためには、自分の家から先生の家への移動に見通しをつける事が大切です。先生のお宅までの交通手段、誰と、どうやってレッスンに通うのか、を理解しましょう。

指導ポイント

誰とどうやって先生の家に来たかを確認しましょう。

先生の家と乗り物、自分の家を線でつなぎましょう。

余裕があったら、車なら？歩いたら？どのくらいかかるか確認したり、どんな乗り物が好きか、話題を広げても楽しいですね。

4. せんせいのおへやにあるものは？

ねらい

次に、今いる先生の家とレッスンルームにある物や、間取りを把握して、落ち着いてレッスンに入る準備をしましょう。

指導ポイント

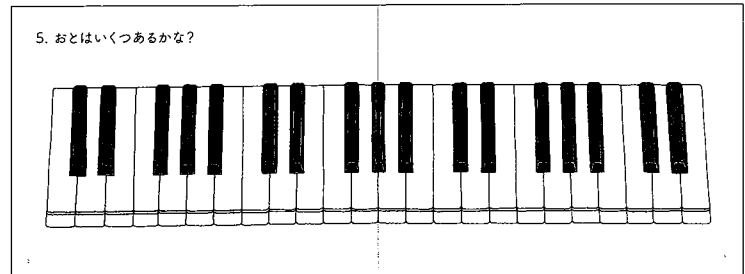
先生のお家にあるものを丸で囲みましょう。

お家に帰られてから何がレッスンルームにあったかを確認することで、次のレッスンのイメージを確かにします。

そして、レッスンルームの環境整備をくれぐれもよろしくお願いいたします。(本書p.13をご参照ください。)

5. おとはいくつあるかな？

あぶり〜れ だい1かん [p.8 - p.9 対応]



ねらい

鍵盤を見慣れる事でピアノへの抵抗を減らしましょう。

指導ポイント

すぐに鍵盤に触ることに抵抗があるお子様が多いですね。そんな時、この紙鍵盤で遊んでみてください。

「ド・レ・ミ」を書いたり、ぬり絵や、色音符シールや、好きなシールを貼って遊んでください。

また、情緒障がいのお子様は、数や数唱に特別のこだわりを持った方が多くいます。「数が好きなお子様だな」と感じられたら、ぜひ鍵盤遊びをお勧めします。先生のピアノの白鍵と黒鍵の数を数える。そしてお家のピアノとの比較をする。

すぐにお家に鍵盤楽器のご用意がないご家庭もあります。そんな時、この紙鍵盤を使い、お家で遊ぶことをお勧めください。

鍵盤を使ったゲームの例

1. 先生とお子様で、お互い鍵盤の端から「ヨーイドン」で半音ずつ中央に向かって音を弾いてゆき、早く真ん中にたどり着いた方の勝ち！
2. 白鍵の数、黒鍵の数を弾きながら数える。一番端の鍵盤から半音階で弾き、いくつ鍵盤があるか数える。
3. 黒鍵のかたまりが2つと3つのところがあることを示し、早押しゲームをする

など、いろんな遊び方があります。

グランドピアノの場合は、鍵盤の上の蓋を外すことができます。外すと、鍵盤の根元に数字が書いてあります。これが好きなお子様もいます。楽器の構造をつかむと、集中してピアノに向かうことができるお子様もいます。そんな時には、あらゆる蓋を外して見せてあげてください。気が済むまで何度か確認すると、「見せて」とは言わなくなります。

6. いきものをさがそう！

あぶりーれ だい1かん [p.10 - p.11 対応]



ねらい

各動物のテーマの曲を覚え、イラストと一致させましょう。
音から動物をイメージすることで、お子様の想像世界を広げましょう。

指導ポイント

18種類の各動物に、テーマ音楽が設定されています。

はじめは、イラストから、お子様の好きな動物を選んでもらいましょう。

先生は、まず、前奏を弾き、次にお子様の選んだ動物のテーマ、最後に後奏を弾きましょう。

・・・いかがでしょうか？

立ち歩いたり、反応が少なくて「ちゃんと聴いているかな？」と、不安になることがあると思います。

キョロキョロしていても、結構耳は集中していることもあります。

お子様のご様子をよくご覧ください。

初めに1匹から提示して、少しずつ増やしてゆくのがコツです。

ピアノ音にあまり興味を示さないときには、一旦ピアノから離れて、動物の歩くリズムで歩いたり、鳴き声をまねしたり、先生も楽しんでください。

いくつか覚えてきたら、音楽を聴いて、「どの動物？」かを当てるゲームをスタートします。

発展

動物のリズムに合わせて、歩いたり、打楽器を鳴らしたりしましょう。

動物のお面を作って、なりきって遊ぶことも面白いですね。

グループの活動では、お友達と交互に動物になり切って、どの動物かを当てるゲームが楽しいですね。

いきものをさがそう

作詞・作曲 春畑セロリ

前奏

♩=120

mf い き も の さ が そ う い き も の さ が そ う

動物のテーマ

ライオン

♩=156

ff

クマ

♩=80

f
gva.....

ゾウ

♩=60

f *sfz*
gva.....

麒麟

♩ = 80

mp

gva

gva

fer. *fer.* *

カバ

♩ = 72

mf

シマウマ

♩ = 72

mf

3 3 3

トラ

♩ = 72

p

tr

f

tr

gva *gva*

イヌ

♩ = 100

mf p

This musical score is for the piece 'イヌ' (Dog). It is written for piano in common time (C). The tempo is marked as ♩ = 100. The key signature has one flat (B-flat major or D minor). The score consists of two systems of two staves each. The first system features a treble staff with a melodic line of eighth notes and a bass staff with a harmonic accompaniment of eighth notes. The second system continues the melody and accompaniment, with a dynamic change from *mf* to *p* in the second measure of the second system.

ねこ

♩ = 92

p

This musical score is for the piece 'ねこ' (Cat). It is written for piano in common time (C). The tempo is marked as ♩ = 92. The key signature has one flat (B-flat major or D minor). The score consists of two systems of two staves each. The first system features a treble staff with a melodic line of eighth notes and a bass staff with a harmonic accompaniment of eighth notes. The second system continues the melody and accompaniment, with a dynamic change from *p* to *mf* in the second measure of the second system.

サル

♩ = 120

mf

This musical score is for the piece 'サル' (Monkey). It is written for piano in common time (C). The tempo is marked as ♩ = 120. The key signature has one flat (B-flat major or D minor). The score consists of two systems of two staves each. The first system features a treble staff with a melodic line of eighth notes and a bass staff with a harmonic accompaniment of eighth notes. The second system continues the melody and accompaniment, with a dynamic change from *mf* to *p* in the second measure of the second system.

コアラ

♩ = 100

pp

This musical score is for the piece 'コアラ' (Koala). It is written for piano in common time (C). The tempo is marked as ♩ = 100. The key signature has one flat (B-flat major or D minor). The score consists of two systems of two staves each. The first system features a treble staff with a melodic line of eighth notes and a bass staff with a harmonic accompaniment of eighth notes. The second system continues the melody and accompaniment, with a dynamic change from *pp* to *p* in the second measure of the second system.

パンダ

♩ = 92

mp

3

3

Detailed description: This musical score is for the piece 'パンダ' (Panda). It is written in common time (C) with a tempo of 92 beats per minute. The score consists of two staves, treble and bass. The right hand (treble clef) features a melody with two measures, each containing a triplet of eighth notes. The left hand (bass clef) provides accompaniment with a triplet of eighth notes in each measure. The dynamic marking is mezzo-piano (mp).

ねずみ

♩ = 180

p

3

3

Detailed description: This musical score is for the piece 'ねずみ' (Nemuri). It is written in common time (C) with a tempo of 180 beats per minute. The score consists of two staves, treble and bass. The right hand (treble clef) features a melody with two measures, each containing a triplet of eighth notes. The left hand (bass clef) provides accompaniment with a triplet of eighth notes in each measure. The dynamic marking is piano (p).

リス

♩ = 120

pp

mp

Detailed description: This musical score is for the piece 'リス' (Risu). It is written in common time (C) with a tempo of 120 beats per minute. The score consists of two staves, treble and bass. The right hand (treble clef) features a melody with two measures, each containing a triplet of eighth notes. The left hand (bass clef) provides accompaniment with a triplet of eighth notes in each measure. The dynamic marking starts at pianissimo (pp) and changes to mezzo-piano (mp) in the second measure.

キツネ

♩ = 100

p

Detailed description: This musical score is for the piece 'キツネ' (Kitsune). It is written in common time (C) with a tempo of 100 beats per minute. The score consists of two staves, treble and bass. The right hand (treble clef) features a melody with two measures, each containing a triplet of eighth notes. The left hand (bass clef) provides accompaniment with a triplet of eighth notes in each measure. The dynamic marking is piano (p).

ワニ

♩ = 100

p *sfz*

Musical score for 'ワニ' (Crocodile). It consists of two staves in bass clef, 4/4 time, with a tempo of 100. The right hand plays a melodic line with a slur over the first two measures, followed by a dynamic change from *p* to *sfz*. The left hand plays a rhythmic accompaniment of eighth notes.

フクロウ

♩ = 100

mp
ppp

Musical score for 'フクロウ' (Owl). It consists of two staves in bass clef, 4/4 time, with a tempo of 100. The right hand plays a melodic line with a slur over the first two measures, followed by a dynamic change from *mp* to *ppp*. The left hand plays a sustained bass line with a slur over the first two measures.

へ

♩ = 120

p

Musical score for 'へ' (He). It consists of two staves in bass clef, 4/4 time, with a tempo of 120. The right hand plays a melodic line with a slur over the first two measures, followed by a dynamic change from *p* to *ppp*. The left hand plays a rhythmic accompaniment of eighth notes.

後奏

♩ = 100

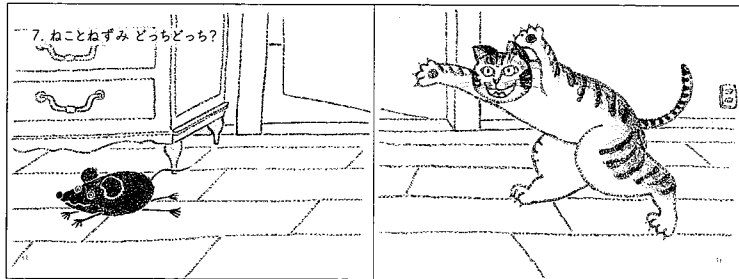
mf

あー
おもしろい

Musical score for '後奏' (Postlude). It consists of two staves in bass clef, 4/4 time, with a tempo of 100. The right hand plays a melodic line with a slur over the first two measures, followed by a dynamic change from *mf* to *ppp*. The left hand plays a rhythmic accompaniment of eighth notes.

7. ねことねずみ どっちどっち?

あぶりれ だい1かん [p.12 - p.13 対応]

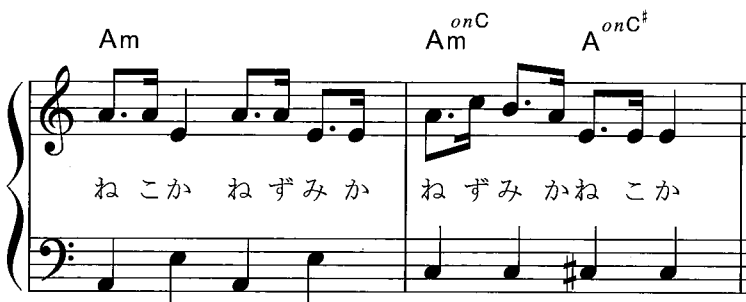
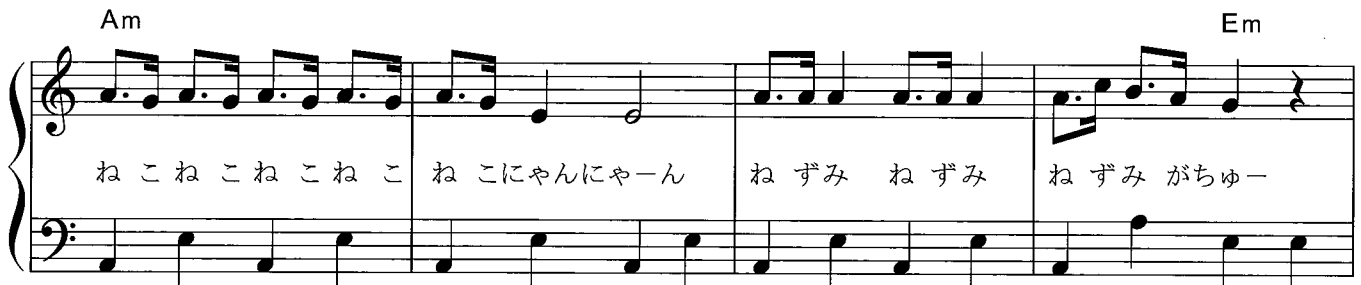
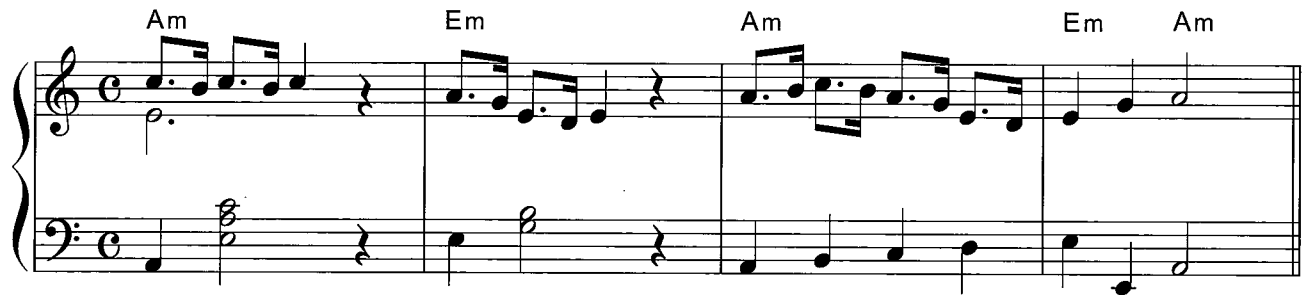


A

ねことねずみ

♩=138

作詞・作曲 児玉千賀子



ねらい

先生が弾く「ねことねずみ」を聞きながら、アクションタイミングを待ちます。

「ねこ」「ねずみ」に指定された役割を理解し、それに合わせた行動をする力をつけます。

指導ポイント

この歌には、「ねこ」と「ねずみ」が登場します。

まずは、「ねことねずみ」の歌を繰り返し歌って覚えましょう。

「ねこ」は「ねずみ」を追いかける役、「ねずみ」は「ねこ」に捕まらないように逃げる役です。

お子様には、役割と行動パターンを良く説明して下さい。

③で、先生は「ねこ」か「ねずみ」のどちらを弾くかを、決めておきましょう。

お子様が「ねこ」なら、先生「ねずみ」を捕まえば「やったー」、お子様が「ねずみ」なら、先生「ねこ」に捕まってしまったら「ざんねん！」です。

慣れてきたら、「ねこ」「ねずみ」を言わずに B の 2 小節目の最後の和音で、どちらか判断できるよう指導します。



ねこ

ねんねんねんねんねん ねんねんねこ

ねずみ

ねんねんねんねんねん ねんねんねずみ

やったー!

ざんねん!

発展（グループレッスン）

グループレッスンでも使いやすい活動です。

広い部屋で、何人かで遊ぶ時には、「追いかっこ遊び」ができますね。

グループ活動の時には、あらかじめそれぞれのお子様に「ねこ」か「ねずみ」の役を決めておきましょう。

自分がどちらの役だったか、わからなくなってしまう場合もあるでしょう。

自分で役割を認識するために、

- 1 ねこねずみのカードを各自持つ。
- 2 お面や、カードに紐をつけて首から下げる。

様々な方法がありますので、お子様に応じて自分で確認できる方法を考えてください。

個人レッスンでは、「ねずみ」は常に逃げる役でした。

グループでは、先生が「ねずみ」と指示したら、「ねずみ」が「ねこ」を追いかける、またその反対に「ねこ」の指示で「ねこ」が「ねずみ」を追いかける“追いかっこ遊び”になります。

自分が「ねずみ」か「ねこ」は決まっていますが、役割の「追いかける」「逃げる」が、先生の指示を聞くまでわからないので、ハラハラドキドキしますね。

ねこ役

ねずみ役





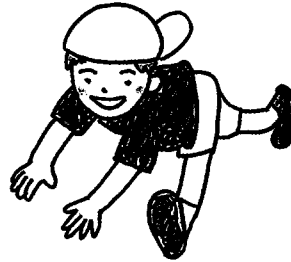
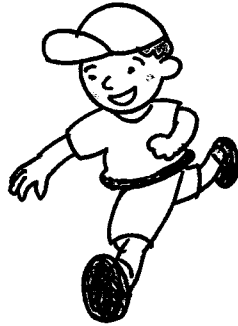
ねこ役



ねずみ役



まてー

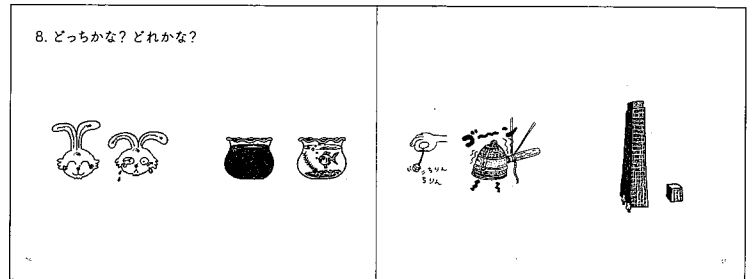


pp



8. どっちかな? どれかな?

あぶり〜れ だい1かん [p.14 - p.15 対応]



どっちかな? どれかな?

Intro.

♩=108

作詞・作曲 児玉千賀子

CM7 Am7 Dm7 G7

A

どっちかな どっちかな たかい おとは どっちかな

B

①

たかい ひくい たかい ひくい たかい ひくい たかい ひくい (or) たかい ひくい

②

つよい よわい つよい よわい つよい よわい つよい よわい (or) **ff** **pp**

③

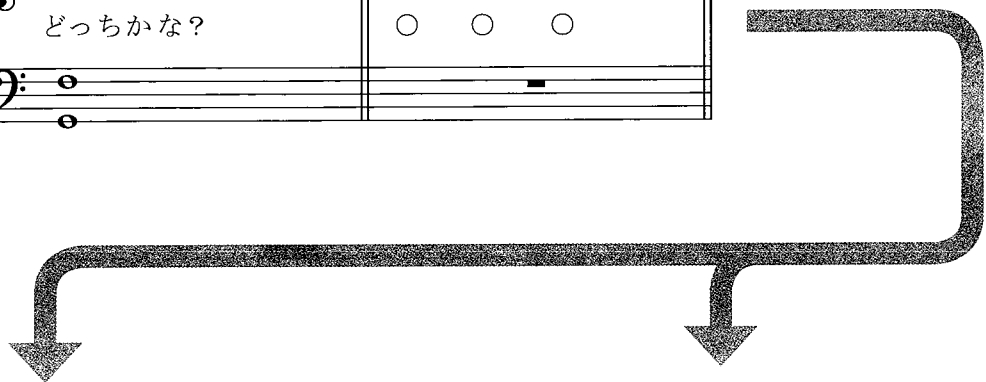
にごった きれい にごった きれい にごった きれい にごった きれい (or) にごった きれい

④

うれしい かなしい うれしい かなしい うれしい かなしい うれしい かなしい (or) うれしい かなしい

G7

どっちかな？



G7 C

あ た り

Bb7 C

お し い

ねらい

2択のセレクトゲームです。

2つの和音を注意深く何度も聴き、響きの違いを覚えます。

指導ポイント

楽譜に従って、二つの和音を提示します。

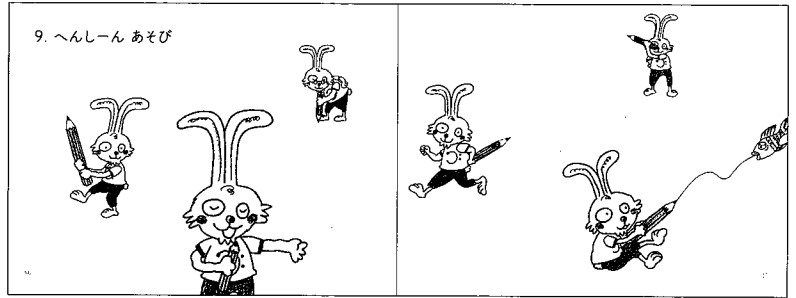
- ① 「たかい」「ひくい」は、音の高低を聞き分けます。
- ② 「つよい」「よわい」は、音量の大小を聞き分けます。
- ③ 「にごった」「きれいな」は、不協和音と協和音を聞き分けます。
- ④ 「うれしい」「かなしい」は、長三和音と短三和音を聞き分けます。

すぐにわからないときは、Bを何度も繰り返す、違いが際立つように弾くなど、工夫してみてください。

間違えても答えにこだわらずに楽しみながら、何度も繰り返すことで、2つの和音の違いに「気づく力」を高めていきましょう。

9. へんしーん あそび

あぶり〜れ だい1かん [p.16 - p.17 対応]



へんしーん あそび

♩=120

作詞・作曲 児玉千賀子

Cm G

へん しーん へん しーん へん しん へんしん へん しーん

5 Db7(b5) C

しーん へん しーん へん しん へんしん へん しーん この

9 Dm7 DbM7 Ab Bb7 CM7⁽⁹⁾

ぼ う が この ぼ う が 1 2 3 4 つ え!

ねらい

「へんしーんあそびのうた」を覚えて、一つの物を様々な物へ変化させることで、想像力をふくらませましょう。

指導ポイント

何でも良いので、まず棒（細長いもの）を用意しましょう。

棒を何に変身させるかを、お子様と相談して決めます。

初めは、お子様用テキストから選んでみてください。

発展

身近なものを使って、どんどん変身してみましょう。

例えば・・・

- おさらは？ → カップ、ざぶとん、うちわ、フリスビー に変身！
- コップ（紙コップ）は？ → 望遠鏡、帽子、イス に変身！
- スプーンは？ → スコップ、うちわ、マイク、メガネ（2つ使って） に変身！
- タオルは？ → しっぽ、つなひき、おじいさんのひげ、つなわたり に変身！
- 洗濯ばさみは？ → （2つ使って）うさぎ、カニ、ちょうちょう に変身！

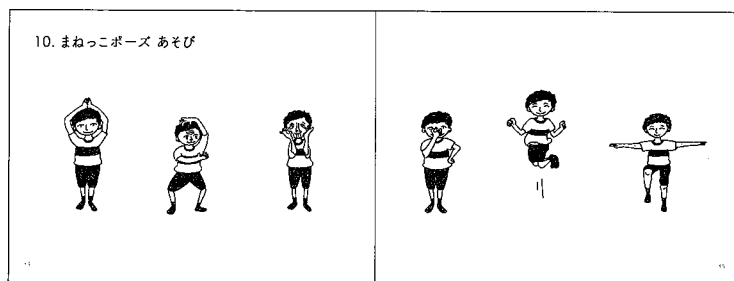
けっこう日常の物を使って変身できそうですね。

何を使うか決まったところで、「へんしーんあそびのうた」を歌い最後にポーズを決めましょう。

グループでしたら、順番に発表し合うと盛り上がりそうですね。

10. まねっこ ポーズ あそび

あぶり〜れ だい1かん [p.18 - p.19 対応]



まつぼっくり

作詞 広田孝夫
作曲 小林つや江
編曲 佐藤開生

まつぼ くりが あつたと さ

5 たかい おやまに あつたと さ

9 ころころ ころころ あつたと さ

13 おさるが ひろって たべたと さ

ねらい

歌を覚えて、言葉のタイミングと拍のタイミングを合わせながら、拍に対する感覚を育てる遊びです。

楽譜に○の印があります。まずは、お子様用テキストからポーズを選んで、○印のところで、ポーズをとってみましょう。余裕が出てきたら、○印のタイミングで楽器を鳴らしてみましょう。

あんたがたどこさ

わらべうた
編曲 佐藤開生

♩=120

あ ん た が た ど こ さ ひ ご さ ひ ご ど こ さ

く ま も と さ も ま も と ど こ さ せん ば さ せん ば

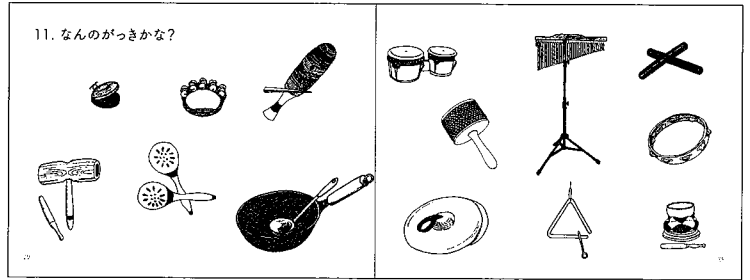
や ま に は た ぬ き が お っ て さ それ を り ょ う し が

て っ ぽ う で う っ て さ に て さ や い て さ く っ て さ

それ を こ の は で ち ょ っ と か ぶ せ -

11. なんのがっきかな？

あぷり〜れ だい1かん [p.20 - p.21 対応]



がっきをならそう

打楽器に十分親しんだところで、今度はピアノに合わせて鳴らしてみましよう。

この曲は、4小節×3段 の12小節で出来ています。

4小節目の1拍目は、ブレイクポイントです。ここで思いっきり鳴らしてもらいましょう。

たくさん鳴らして気が済んだところで、先生は楽器や言葉で「ポンポンポン」の合図を出し、次の小節に移ります。

お子様が曲の構造を覚えたところで役割交代、「ポンポンポン」はお子様の当番です。

自分で終わりを決める力を養います。

♩=116

作詞・作曲 児玉千賀子

Chord progression: C7, F7, C7, F7, C7, G7, F7, C7, (Dm7), (G7), C7

Lyrics: いっしょに ピアノをならそー ポン ポン ポン
せんせいのおとをきこうー ポン ポン ポン
わたしのおとをならそうー

ねらい

いろんな楽器の音に触れて、音への関心を育てましょう。

指導のポイント

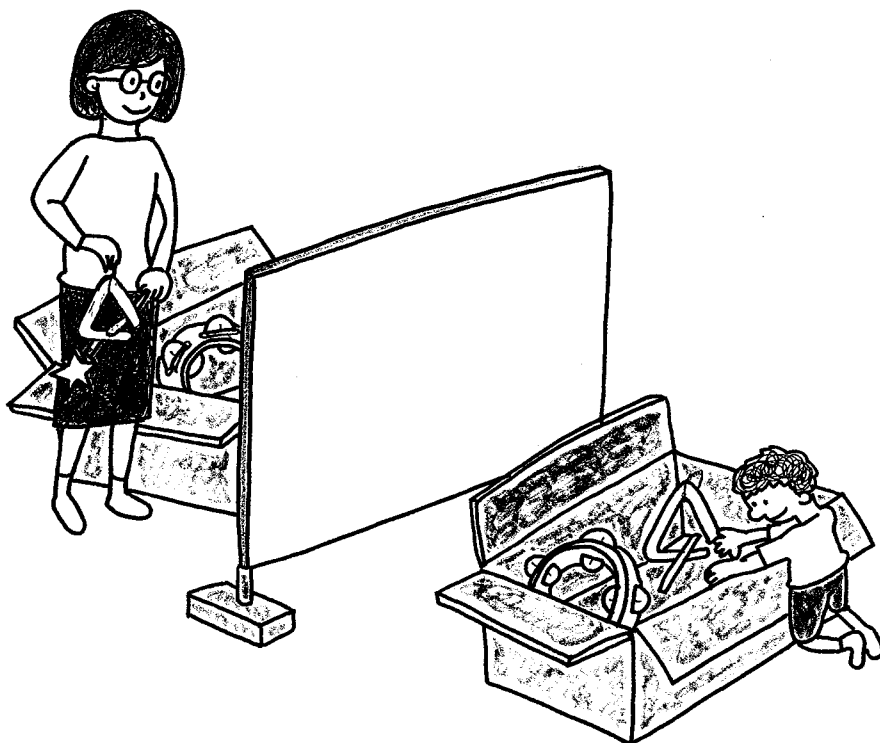
先生のお家には、ピアノ以外の楽器はありますか？ 小物楽器があると活動の幅が広がります。ぜひご用意をお願いします。そして同じ楽器が2つ以上あると便利です。

まずは、テキストを見ながら楽器、音と名前を確認しましょう。楽器のイラストの下に、楽器の名前を書いてください。準備ができたなら「音のあてっこ」を始めましょう。二つ段ボール箱と、楽器を2つずつ用意します。それぞれの段ボールに、楽器を1つずつ入れます。先生の箱、お子様の箱、2つが出来上がります。

早速「音のあてっこ」を始めましょう。

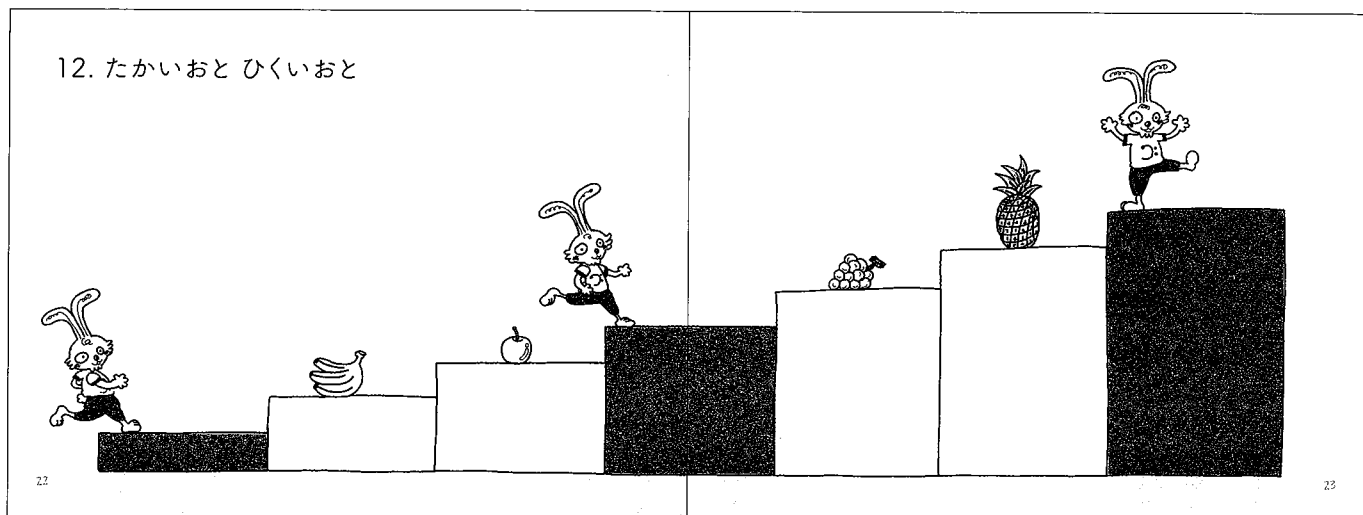
音のあてっこゲーム

1. 初めてこの活動に取り組む時には、2種類の楽器から始めます。明らかに音の性格が異なる楽器（ex ○ギロとタンバリン、×グラベスとカスタネット）を聴き分けることから始めましょう。
2. まず箱からすべての楽器を出して、お子様自身が十分に音を確認してもらいましょう。
3. お子様から見えないように工夫をして楽器を鳴らし、どの楽器を鳴らしたかを当ててもらいます。
4. 出来るようになったら、役割交代です。お子様に先生役をしてもらいましょう。



12. たかいおと ひくいおと

あぶり〜れ だい1かん [p.22 - p.23 対応]



ねらい

イラストとマッチングしながら、音の高低を意識できるようになりましょう

遊び方

大きな階段が7段あります。

1段目、4段目、7段目にへおんくんがいます。

1つの和音を7つのポジションへ平行移動することで、音の高低を聴き分ける遊びです。

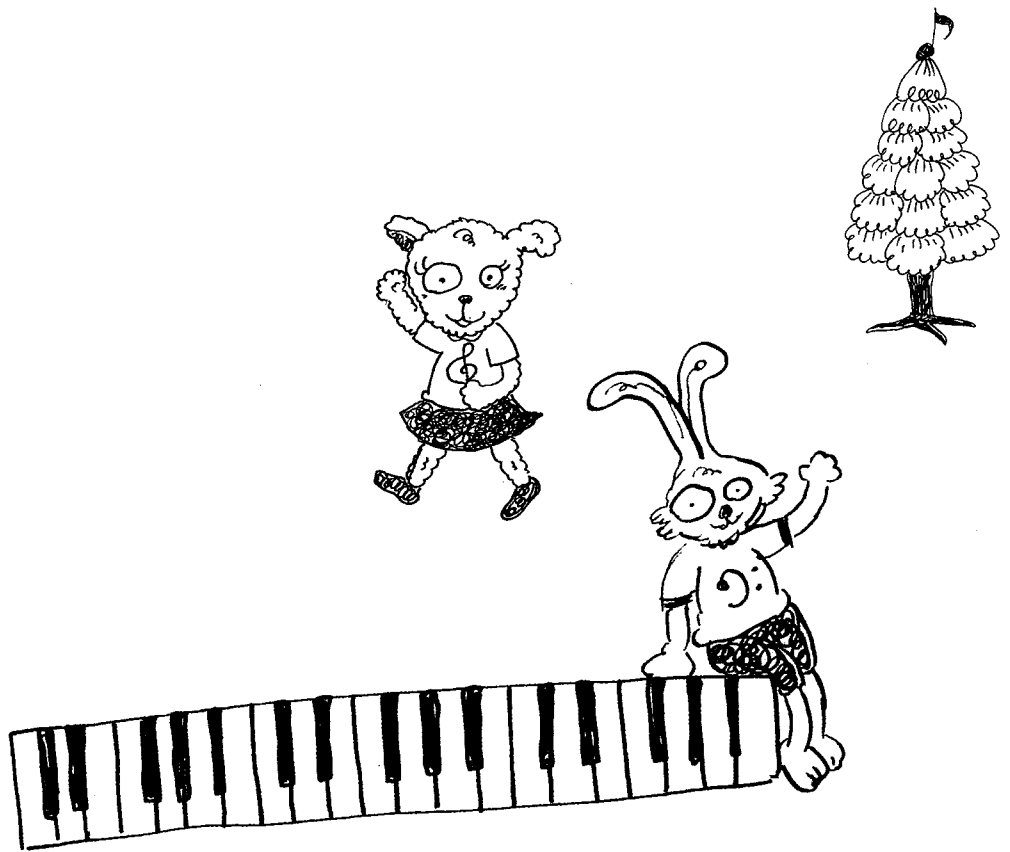
初めは、真ん中のへおんくん「ドミソ」の和音を聴いてみましょう。

低音部から低い音のへおんくん（1つ目）、真ん中の音のへおんくん（4つ目）、高い音のへおんくん（7つ目）、3つの和音の音高の聴き分けをしてみましょう。

発展

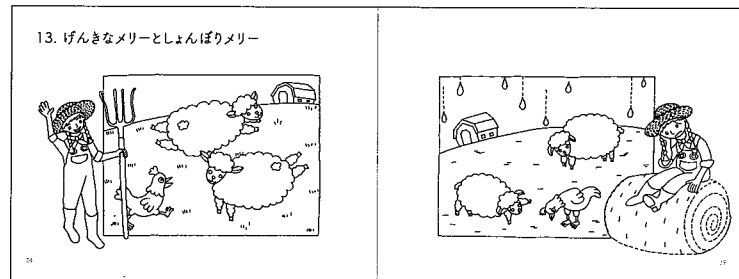
少しずつ7つのポジションが聴き分けることができるようにします。

できるようになってきたら、和音の種類を、ドミソからレファラ、ソシレと幅を広げてゆきましょう。



13. げんきなメリー と しょんぼりメリー

あぷり〜れ だい1かん [p.24 - p.25 対応]



ねらい

長調と短調をイメージしましょう。

遊び方

牧場の朝と夕方のすてきなイラストがあります。まずは、楽しくぬり絵をしましょう。

お子様がぬり絵をするとき、先生は「げんきなメリーさん」「しょんぼりメリーさん」の違いが際立つよう、ちょっと大きめに弾いてみてください。

発展

いろんな曲の長調短調を聴き分けしてみましょう。

童謡等で調性が動かずはっきりした曲、お子様がよく知っている曲を使ってみましょう。平行調や同主調で弾いて、お子様が理解しやすいポイントを探してみてください。

お子様に「どっちかなあ？」と聞くと、意外な答えが返ってくることもあります。お子様の感じる心を大切に、受け入れて差し上げてくださいね。

長調短調の聴き分けをしてみましょう！

使用曲例

A 長調の曲を平行調 同主短調へ転調する。

- ちょうちょう
- こいのぼり
- われは海の子
- たきび
- ちゃつみ
- のぎく
- めだかの学校
- トンボのめがね

B 短調の曲を平行調 同主長調へ転調する。

- うれしいひなまつり
- こがねむし
- ドナドナ

げんきなメリーさん

アメリカ民謡
編曲 佐藤開生

Allegretto

Musical score for 'げんきなメリーさん' in 2/4 time. The piece is marked 'Allegretto' and 'mf'. The score consists of two systems of piano accompaniment. The first system has four measures, and the second system has four measures. The melody is primarily in the right hand, with a steady bass line in the left hand.

しょんぼりメリーさん

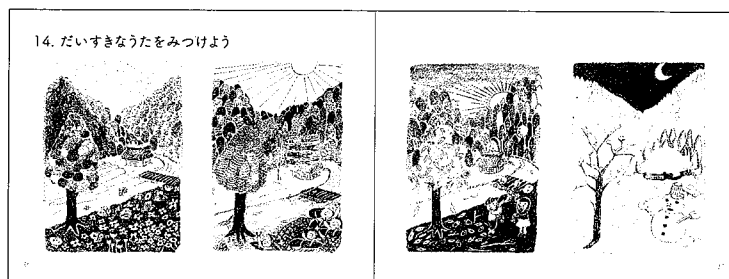
アメリカ民謡
編曲 佐藤開生

Moderato

Musical score for 'しょんぼりメリーさん' in 2/4 time. The piece is marked 'Moderato'. The score consists of two systems of piano accompaniment. The first system has four measures, and the second system has four measures. The melody is primarily in the right hand, with a steady bass line in the left hand. Chord symbols are provided above the right hand: Am, E, Am, E7, Am, E, Am, E7, Am. The piece ends with a fermata and the instruction 'sva'.

14. だいすきなうたをみつけよう

あぶり〜れ だい1かん [p.26 - p.27 対応]



ねらい

童話は、自然の情景を歌ったものが多いですね。

季節の歌を覚えることは、感じる心を豊かに育みます。

遊び方

春夏秋冬のイラストの中には、たくさんの歌の素材が隠れています。

まずは、歌のメロディーから連想するイラストを見つけましょう。

発展

春夏秋冬の曲は、今回テキストに載せきれませんでしたので、参考に曲名をお示しします。

春

- 春の小川
- 早春賦
- 花
- 緑のそよ風
- めだかの学校
- 春が来た
- 朧月夜
- さくらさくら

夏

- 茶摘み
- 海
- 雨
- 浜辺の歌
- 花火
- みかんの花咲く丘

秋

- もみじ
- ちいさい秋みつけた
- 里の秋
- 秋の子
- まっかな秋
- 虫の声
- 月
- うさぎ
- むらまつり
- 七つの子
- 夕焼け小焼け

冬

- ペチカ
- たき火
- 冬景色
- 雪の踊り
- 冬の夜
- スキーの歌

ぶんぶんぶん

作詞 村野四郎
曲 ボヘミア民謡
編曲 佐藤開生

♩=96

ぶんぶん ぶん はちがと ぶ おいけの まわりに

The first system of the musical score for 'ぶんぶんぶん' is written in 2/4 time with a key signature of one sharp (F#). It consists of two staves: a treble staff with a vocal line and a bass staff with a piano accompaniment. The lyrics are: ぶんぶん ぶん はちがと ぶ おいけの まわりに.

のぼらが さいたよ ぶんぶん ぶん はちがと ぶ

The second system of the musical score continues the melody and accompaniment. The lyrics are: のぼらが さいたよ ぶんぶん ぶん はちがと ぶ.

どんぐりころころ

作詞 青存 義
作曲 梁田 貞
編曲 佐藤開生

♩=104

どんぐりころころ どんぶりこ おいけにはまって さあたいへん

The first system of the musical score for 'どんぐりころころ' is written in 2/4 time with a key signature of one sharp (F#). It consists of two staves: a treble staff with a vocal line and a bass staff with a piano accompaniment. The lyrics are: どんぐりころころ どんぶりこ おいけにはまって さあたいへん.

どじょうがでてきて こんにちは ぼっちゃんいっしょに あそびましょ

The second system of the musical score continues the melody and accompaniment. The lyrics are: どじょうがでてきて こんにちは ぼっちゃんいっしょに あそびましょ.

ちょうちょう

作詞 野村秋足

曲 スペイン民謡

編曲 佐藤開生

♩=96

ちょうちょう ちょうちょう なのはに とまれ

The first system of the score consists of two staves. The upper staff is in treble clef with a key signature of two sharps (F# and C#) and a common time signature. The lower staff is in bass clef with the same key signature and time signature. The melody is written in the upper staff, and the lyrics are placed below it. The piano accompaniment is written in the lower staff.

なのはに あいたら さくらに とまれ

The second system continues the melody and piano accompaniment. The lyrics are placed below the upper staff.

さくらの はなの はなから はなへ

The third system continues the melody and piano accompaniment. The lyrics are placed below the upper staff.

とまれよ あそべ あそべよ とまれ

The fourth system concludes the piece with the final melody and piano accompaniment. The lyrics are placed below the upper staff.

かたつむり

文部省唱歌
編曲 佐藤開生

♩=94

で ん で ん む し む し か た つ む り

The first system of music is in 2/4 time. The melody is written on a treble clef staff, and the piano accompaniment is on a bass clef staff. The lyrics are written below the treble staff. The melody consists of quarter notes and eighth notes, with a final quarter rest in the fourth measure.

5
お ま え の あ た ま は ど こ に あ る

The second system of music starts at measure 5. The melody is written on a treble clef staff, and the piano accompaniment is on a bass clef staff. The lyrics are written below the treble staff. The melody consists of quarter notes and eighth notes, with a final quarter rest in the fourth measure.

9
つ の だ せ や り だ せ あ た ま だ せ

The third system of music starts at measure 9. The melody is written on a treble clef staff, and the piano accompaniment is on a bass clef staff. The lyrics are written below the treble staff. The melody consists of quarter notes and eighth notes, with a final quarter rest in the fourth measure.

こいのぼり

作詞 近藤宮子
作曲 不詳
編曲 佐藤開生

♩=96

やねより たかい こいのぼり

The first system of musical notation for 'Koi no Bori' is in 3/4 time. It consists of a treble and bass staff. The melody is in the treble staff, and the accompaniment is in the bass staff. The lyrics are written below the treble staff.

5

おおきい まごいは おとうさん

The second system of musical notation for 'Koi no Bori' is in 3/4 time. It consists of a treble and bass staff. The melody is in the treble staff, and the accompaniment is in the bass staff. The lyrics are written below the treble staff.

9

ちいさい ひごいは こどもたち

The third system of musical notation for 'Koi no Bori' is in 3/4 time. It consists of a treble and bass staff. The melody is in the treble staff, and the accompaniment is in the bass staff. The lyrics are written below the treble staff.

13

おもしろ そうに およいでる

The fourth system of musical notation for 'Koi no Bori' is in 3/4 time. It consists of a treble and bass staff. The melody is in the treble staff, and the accompaniment is in the bass staff. The lyrics are written below the treble staff.

ゆき

文部省唱歌
編曲 佐藤開生

♩ = 112

ゆ - き や こん こ あ ら れ や こん こ

5

ふっ て は ふっ て は ず ん ず ん つ も る

9

や - ま も の は ら も わ た ぼ う し か ぶ り

13

か れ き の こ ら ず は な が さ く

しゃぼんだま

作詞 野口雨情
作曲 中山晋平
編曲 佐藤開生

♩ = 60

しゃぼんだま とんだ やねまで とんだ

The first system of musical notation for 'Shabondama' is in 2/4 time with a key signature of two flats (B-flat and E-flat). It consists of a treble and bass staff. The melody is in the treble staff, and the accompaniment is in the bass staff. The lyrics are written below the treble staff.

5 やねまで とんで こわれて きえた

The second system of musical notation continues the piece. It starts with a measure rest of 5 measures. The melody and accompaniment continue with the lyrics written below the treble staff.

9 かぜかぜ ふく な しゃぼんだま とぼそ

The third system of musical notation continues the piece. It starts with a measure rest of 9 measures. The melody and accompaniment continue with the lyrics written below the treble staff.

きらきら星

作詞 武鹿悦子
曲 フランス民謡
編曲 佐藤開生

♩ = 112

きらきら ひかる おそらの ほしよ

The first system of the score consists of two staves. The upper staff is in treble clef and the lower staff is in bass clef. The music is in 3/4 time. The lyrics are written below the notes: 'きらきら ひかる おそらの ほしよ'.

まばたき しては みんなを みてる

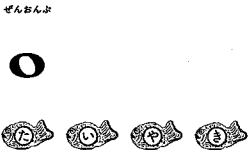
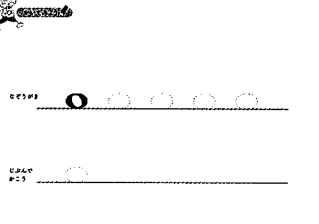
The second system of the score consists of two staves. The upper staff is in treble clef and the lower staff is in bass clef. The music is in 3/4 time. The lyrics are written below the notes: 'まばたき しては みんなを みてる'.

きらきら ひかる よぞらの ほしよ

The third system of the score consists of two staves. The upper staff is in treble clef and the lower staff is in bass clef. The music is in 3/4 time. The lyrics are written below the notes: 'きらきら ひかる よぞらの ほしよ'.

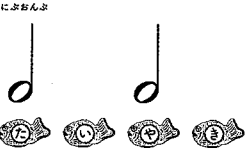
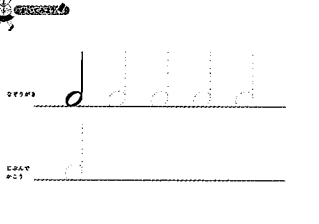
15. おんぷであそぼ (ぜんおんぷ)

あぷり〜れ だい1かん [p.28 - p.29 対応]

<p>15. おんぷであそぼ (ぜんおんぷ)</p> <p>ぜんおんぷ</p> 	
---	---


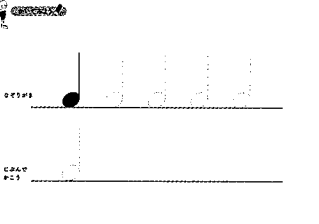
16. おんぷであそぼ (にぶおんぷ)

あぷり〜れ だい1かん [p.30 - p.31 対応]

<p>16. おんぷであそぼ (にぶおんぷ)</p> <p>にぶおんぷ</p> 	
---	---

17. おんぷであそぼ (しぶおんぷ)

あぷり〜れ だい1かん [p.32 - p.33 対応]

<p>17. おんぷであそぼ (しぶおんぷ)</p> <p>しぶおんぷ</p> 	
---	---

ねらい

全音符 2分音符 4分音符の音価を理解しましょう。

指導の方法

このテキストでは、全音符の理解から始めます。

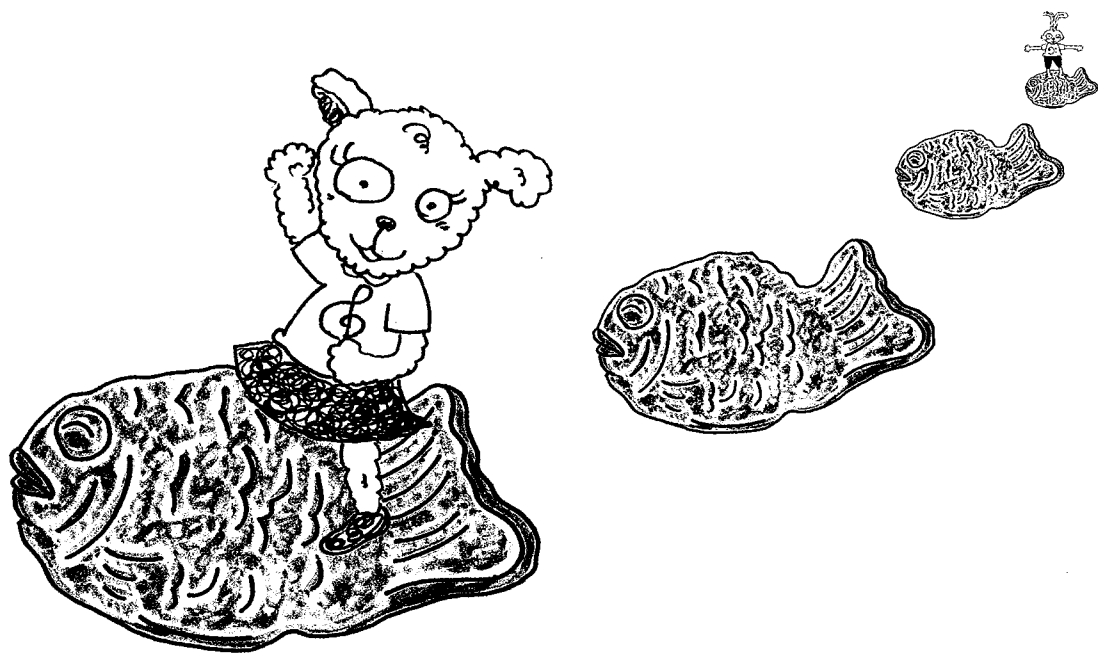
全音符を2分割したものが2分音符、4分割したものが4分音符であることを理解できるように進めます。

まずは、音符のなぞり書きをしながら、自然に音符に興味を持てるようにします。

全音符は「たいやき」

2分音符は「たい」「やき」

4分音符は「た」「い」「や」「き」で覚えます。



18. たいやきのうた

あぶり〜れ だい1かん [p.34 - p.35 対応]

<p>18. たいやきのうた</p>	
--------------------	--

あぶり〜れ だい1かん [p.36 - p.37 対応]

<p>たいやきのうた</p> <p>1 2 3 4 たいやき! 1 2 3 4 たいやき!</p> <p>1 2 3 4 たいやき! 1 2 3 4 たいやき!</p> <p>た〜たいや</p> <p>ハイハイ た〜るん たいやき た〜たい</p> <p>1 2 3 4 1 2 3 4 4のりどろ</p>	
---	--

ねらい

3種類の音符が出そろいました。「たいやきのうた」を歌いながら、音価と拍の感覚をつかんでゆきます。

4拍打ちの手拍子をしながら、進めましょう。

ぜひ「たいやき」を「たこやき」や他のものに変えて、替え歌を楽しんでください。

19. ことばにあったおんぷはあるかな?

あぶり〜れ だい1かん [p.38 - p.39 対応]

<p>19. ことばにあったおんぷはあるかな?</p>	
-----------------------------	--

ねらい

よく知っている言葉とリズムをつなげ、音符の名前と音価の理解を深める。

指導の方法

まずは、言葉を言いながら、手拍子でリズムを確認しましょう。

覚えたところで、先生はリズムを提示して下さい。お子様は、テキストからリズムに合うイラストを選びます。

このほかにも、いろんな言葉とリズムを結び付けて、発展させてください。

たいやきのうた

♩=112

作詞・作曲 児玉千賀子

Cm

1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 4 た いや き

Cm

G7

1 2 3 4 た いや き た べ た い な

F#m7(b5)

Fm

C^{on}E

Ebdim

1 ク 1 ク た く さ ん た いや き た べ た い

Dm7

D♭M7

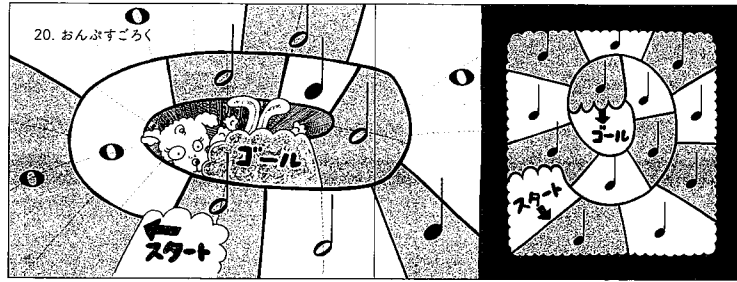
C

G7 C

1 2 3 4 1 2 3 4 よ ん ひ き ど う ぞ

20. おんぶすごろく

あぶりーれ だい1かん [p.40 - p.41 対応]



さいころのうた

作詞・作曲 児玉千賀子

♩=132

C Dm D7 G E7 Am7 D7 G Gaug

ころころさいころ ころころさいころ ころころさいころが ころころりん ポン!

ねらい

すごろくで遊びながら、音符の名前と音価を楽しく覚える。

指導の方法

すごろく遊びで、サイコロを振るときに「さいころのうた」をお使いください。

音符すごろくでは、2つのサークルがあります。そしてサイコロは2種類あります。[本書p91]

数字 1 2 4 の入ったものと、全音符、2分音符、4分音符が入ったものです。(コマ1個=四分音符です)

1巻 p40 のすごろくのマスには、全音符、2分音符、4分音符の3種の音符があります。

1巻 p41 のすごろくのマスは、全て4分音符です。

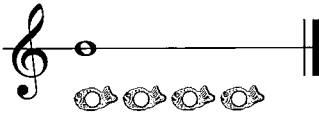
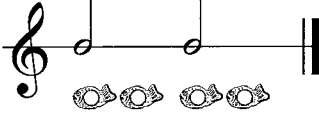
まず数字のサイコロを振って数の分だけ四分音符のマスを進める遊びをしましょう。

その次に、音符サイコロを振って音価の理解を進めます。

21. リズムのおけいこ①

22. リズムのおけいこ②

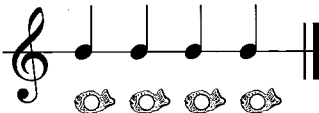
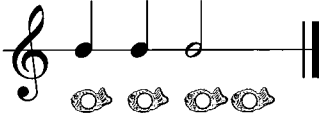
あぶり〜れ だい1かん [p.42 - p.43 対応]

21. リズムのおけいこ① 	22. リズムのおけいこ② 
---	--

23. リズムのおけいこ③

24. リズムのおけいこ④

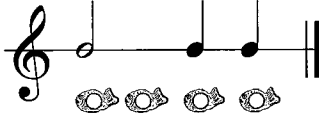
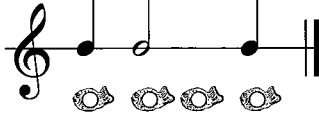
あぶり〜れ だい1かん [p.44 - p.45 対応]

23. リズムのおけいこ③ 	24. リズムのおけいこ④ 
--	---

25. リズムのおけいこ⑤

26. リズムのおけいこ⑥

あぶり〜れ だい1かん [p.46 - p.47 対応]

25. リズムのおけいこ⑤ 	26. リズムのおけいこ⑥ 
---	--

指導の方法

まずは、「たいやき」を言いながら、手拍子の練習をしましょう。

お子様テキスト「たいやき」に、1、2、3、4を入れてもよいですし、お子様のお名前、好きなものの名前（おだんご、ひまわり、はやぶさ）などを入れてもよいですね。お子様に合わせて、ご自由にお使いください。

リズムが自由に叩けるようになったら、「たいやきのうた」を歌いながら、またはお子様の好きな4拍子の曲に合わせてリズム練習をしてください。（次のページに4拍子曲のサンプルを載せました）

いとまき

♩=108

デンマーク民謡
編曲 佐藤開生

The first system of musical notation for 'いとまき' consists of two staves. The upper staff is in treble clef and the lower staff is in bass clef. The music is in common time (C). The melody in the upper staff begins with a quarter note G4, followed by quarter notes A4, B4, C5, and D5. The bass line in the lower staff starts with a quarter note G2, followed by quarter notes A2, B2, and C3. The system concludes with a double bar line.

The second system of musical notation for 'いとまき' continues from the first system. It begins with a measure number '5' above the treble clef. The melody in the upper staff features a quarter note G4, followed by quarter notes A4, B4, and C5. The bass line continues with quarter notes D3, E3, and F3. The system ends with a double bar line.

さんぽ

作曲 佐藤開生

♩=104

The first system of musical notation for 'さんぽ' consists of two staves. The upper staff is in treble clef and the lower staff is in bass clef. The music is in common time (C). Above the first measure, the chord is labeled 'C'. Above the second measure, the chord is 'Dm7 C^{onE}'. Above the third measure, the chord is 'F'. Above the fourth measure, the chord is 'G7'. Above the fifth measure, the chords are 'C^{onE} Ddim Am7^{onC}'. Above the sixth measure, the chord is 'Dm7'. Above the seventh measure, the chord is 'G'. The system concludes with a double bar line.

The second system of musical notation for 'さんぽ' continues from the first system. It begins with a measure number '5' above the treble clef. Above the first measure, the chord is 'C'. Above the second measure, the chord is 'Dm7 C^{onE}'. Above the third measure, the chord is 'F'. Above the fourth measure, the chords are 'Em G#dim Am CM7^{onG} F#m7(b5)'. Above the fifth measure, the chord is 'G7'. Above the sixth measure, the chord is 'C'. The system ends with a double bar line.

第2巻 お子様用テキストと 第4巻 指導書の対応

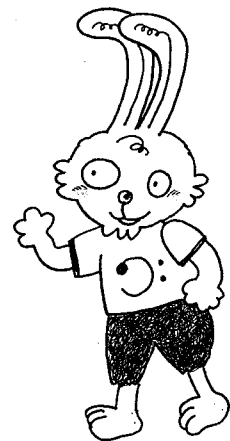
ニころと、耳をひらくテキスト

あぶり〜れ

だい 2 かん

♩ こんどはピアノであそぶよ〜

♪: ドレミファソってしってる〜?



コンセプトと構成

この巻では、ド～ソの音を覚えます。

レッスンの導入で、すぐにピアノを触ることが難しいケースも多いですね。トーンチャイム、カラーチャイムバー、デスクベルなどの音程のある打楽器を使うこともお勧めです。急がず音符の色塗りや、シール貼りなどで、音符遊びをすることから始めましょう。

左ページのイラストでイメージを膨らませましょう。イラストにあてはまる言葉、すぐわかりましたか？

右ページの音符に、音符シールを貼ります。色は、お子様用テキストの裏表紙にある色音符スケール《ころ～れ》をご参考ください。たいやきの絵の中には、「たいやき」「1234」「ドドドド」、またはお子様のお名前等をあてはめると楽しめます。

次に、楽譜を見ながら弾く練習に少しずつ入ってゆきましょう。

きれいに演奏のフォームを整えてから弾いてもらおうとすると、緊張が強くなることもあります。初めは特に指にはこだわらず、まずは1本指で弾くことをお勧めします。テンポは、お子様の弾きやすいテンポではじめましょう。

それぞれの音の練習に対して、2つの伴奏を用意してあります。2つの伴奏は、お子様用楽譜①と②のどちらにも使うことができます。1つ目の伴奏は、ハ長調で構成されており、ハ長調で音名を捉える事を目的にしております。2つ目の伴奏はハ長調以外の響きに慣れる事を目的にしています。

音階音としての認識を混乱させたくない場合は、1つ目の伴奏をお使いください。

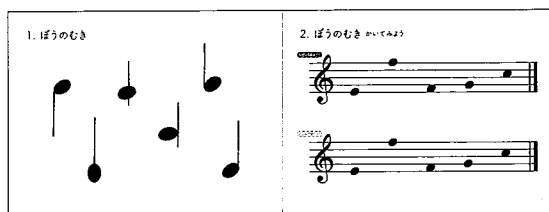
第2巻：第4巻対応頁一覧表

第2巻 項目	頁	第4巻 対応頁
1. ぼうのむき	4	71
2. ぼうのむき かいてみよう	5	71
3. ドのおえかき	6	72
4. ドをかきましよう	7	72
5. ドのおけいこ①	8	72
6. ドのおけいこ②	9	72
7. レのおえかき	10	72
8. レをかきましよう	11	72
9. レのおけいこ①	12	72
10. レのおけいこ②	13	72
11. ミのおえかき	14	73
12. ミをかきましよう	15	73
13. ミのおけいこ①	16	73
14. ミのおけいこ②	17	73
15. ドとレのおやま なぞってみよう！じぶんでかこう！	18	73
16. ドとレのたに なぞってみよう！じぶんでかこう！	19	73
17. ドレミのおやま なぞってみよう！じぶんでかこう！	20	73
18. ドレミのたに なぞってみよう！じぶんでかこう！	21	73

1. ぼうのむき

2. ぼうのむき かいてみよう

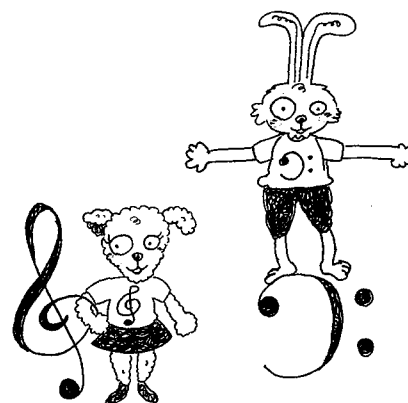
あぶりね だい2かん [p.4 - p.5 対応]



ねらい

音符(符尾)の位置を覚えることが難しいお子様が多いです。

一つの形の転回形であることを、ぬり絵などで遊びながら覚えてもらいます。



第2巻 項目	頁	第4巻 対応頁
19. ファのおえかき	22	73
20. ファをかきましょう	23	73
21. ファのおけいこ①	24	73
22. ファのおけいこ②	25	73
23. ソのおえかき	26	74
24. ソをかきましょう	27	74
25. ソのおけいこ①	28	74
26. ソのおけいこ②	29	74
27. ドレミファのおやま なぞってみよう! じぶんでかこう!	30	74
28. ドレミファのたに なぞってみよう! じぶんでかこう!	31	74
29. かえるのがっしょう	32	74
30. ドレミファソのおやま なぞってみよう! じぶんでかこう!	34	75
31. ドレミファソのたに なぞってみよう! じぶんでかこう!	35	75
32. れんしゅう①~⑩	36	75
33. メリーさんのひつじ	46	77

- 11. ミのおえかき
- 12. ミをかきましょう
- 13. ミのおけいこ①
- 14. ミのおけいこ②

13. ミのおけいこ①	14. ミのおけいこ②

ミのおけいこ①②

生徒

先生

ミのおけいこ①②

生徒

先生

- 15. ドとレのおやま
- 16. ドとレのたに
- 17. ドレミのおやま
- 18. ドレミのたに
- 19. ファのおえかき
- 20. ファをかきましょう
- 21. ファのおけいこ①
- 22. ファのおけいこ②

21. ファのおけいこ①	22. ファのおけいこ②

ファのおけいこ①②

生徒




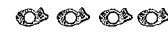
先生

ファのおけいこ①②

生徒

先生

- 23. ソのおえかき
- 24. ソをかきましよう
- 25. ソのおけいこ①
- 26. ソのおけいこ②

<p>25. ソのおけいこ①</p>  	<p>26. ソのおけいこ②</p>  
--	--

ソのおけいこ①②

生徒 


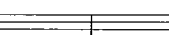



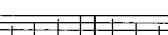

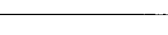
先生 

ソのおけいこ①②

生徒 

先生 

- 27. ドレミファのおやま
- 28. ドレミファのたに
- 29. かえるのがっしょう

<p>29. かえるのがっしょう</p>    	   
--	---

かえるの合唱

曲 ドイツ民謡
 日本語訳 岡本敏明
 編曲 佐藤開生

生徒 

先生 

5 



30. ドレミファソのおやま

31. ドレミファソのたに

32. れんしゅう①

れんしゅう②

32. れんしゅう①	れんしゅう②

れんしゅう①

生徒

先生

れんしゅう②

生徒

先生

れんしゅう③

れんしゅう④

れんしゅう③	れんしゅう④

れんしゅう③

生徒

先生

れんしゅう④

生徒

先生

れんしゅう⑤

れんしゅう⑥

れんしゅう⑤	れんしゅう⑥

れんしゅう⑤

生徒

先生

れんしゅう⑥

生徒

先生

れんしゅう⑦

れんしゅう⑧

れんしゅう⑦	れんしゅう⑧

れんしゅう⑦

生徒

先生

れんしゅう⑧

生徒

先生

れんしゅう⑨

れんしゅう⑩

れんしゅう⑨	れんしゅう⑩

れんしゅう⑨

生徒

先生

れんしゅう⑩

生徒

先生

33. メリーさんのひつじ	

メリーさんのひつじ

曲 アメリカ民謡
日本語訳 岡本敏明

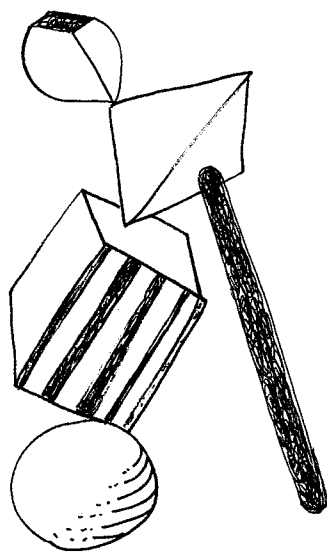
生徒

先生

5

3

3



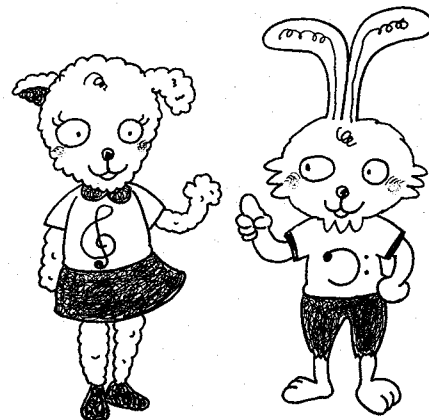
第3巻 お子様用テキストと 第4巻 指導書の対応

ニニろと、耳をひらくテキスト

あぶり〜れ

だい 3 かん

- ♩ さいごはラシドだよ！
ドレミファソラシドぜんぶのおとと、
おともだちになれるかな？
- : ゆびのばんごうもおぼえるよ！



コンセプトと構成

この巻では、まずはラ・シ・ドの音を覚えます。それから、指番号を覚えて、「指くぐり」と「指ごえ」をマスターします。もし「指ごえ」などが難しく、緊張してしまうなら、1本指での鍵盤遊びで十分です。音符のシール貼りなどの音符遊びも継続しましょう。

この巻では、指番号の歌が出てきます。楽しみながら、自然に指番号が覚えられたら良いですね。お子様のペースに合わせて、ゆっくりと進めて下さい。

第3巻：第4巻対応頁一覧表

第3巻 項目	頁	第4巻 対応頁
1. ピアノをひくしせい	4	81
2. てのかたち	5	81
3. ラのおえかき	6	81
4. ラをかきましよう	7	81
5. ラのおけいこ①	8	81
6. ラのおけいこ②	9	81
7. シのおえかき	10	81
8. シをかきましよう	11	81
9. シのおけいこ①	12	81
10. シのおけいこ②	13	81
11. ドのおえかき	14	82
12. ドをかきましよう	15	82
13. ドのおけいこ①	16	82
14. ドのおけいこ②	17	82
15. ゆびばんごうをおほえよう	18	83
16. ゆびばんごうのうた	20	83
17. おとのおなまえ	22	84
18. ゆびくぐり	24	84
19. ゆびごえ	25	84
20. のぼって おりよう ドレミファソラ	26	84
21. おりて のぼろう ドレミファソラ	27	84
22. ドレミファソラのおけいこ①	28	84
23. ドレミファソラのおけいこ②	29	84
24. のぼって おりよう ドレミファソシ	30	85
25. おりて のぼろう ドレミファソラシ	31	85
26. ドレミファソラシのおけいこ①	32	85
27. ドレミファソラシのおけいこ②	33	85
28. のぼって おりよう ドレミファソシド	34	85
29. おりて のぼろう ドレミファソラシド	35	85
30. ドレミファソラシドのおけいこ①	36	85
31. ドレミファソラシドのおけいこ②	37	85
32. おんかいをかいてみよう(ぜんおんぷ)	38	86
33. おんかいをかいてみよう(にぶおんぷ)	40	86
34. おんかいをかいてみよう(しぶおんぷ)	41	86
35. れんしゅう①～⑧	42	86

あぷり〜れ だい3かん [p.8 - p.9 対応]

- 1. ピアノをひくしせい
- 2. てのかたち
- 3. ラのおえかき
- 4. ラをかきましよう
- 5. ラのおけいこ①
- 6. ラのおけいこ②

5. ラのおけいこ①	6. ラのおけいこ②

ラのおけいこ①②

生徒

先生

ラのおけいこ①②

生徒

先生

- 7. シのおえかき
- 8. シをかきましよう
- 9. シのおけいこ①
- 10. シのおけいこ②

あぷり〜れ だい3かん [p.12 - p.13 対応]

9. シのおけいこ①	10. シのおけいこ②

シのおけいこ①②

生徒

先生

シのおけいこ①②

生徒

先生

- 11. ドのおえかき
- 12. ドをかきましょう
- 13. ドのおけいこ①
- 14. ドのおけいこ②

13. Fのおけいこ① 	14. Fのおけいこ②
-----------------	-----------------

ドのおけいこ①②

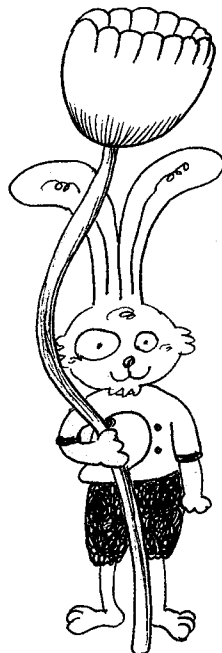
生徒

先生

ドのおけいこ①②

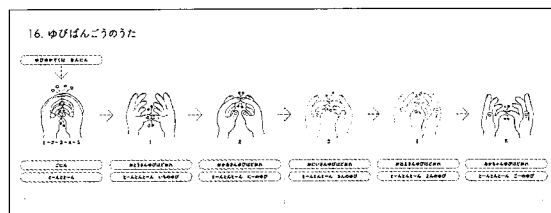
生徒

先生



15. ゆびばんごうをおぼえよう

16. ゆびばんごうのうた



ゆびばんごうのうた

お子様とゆっくり歌いながら指番号を覚えましょう

作詞・作曲 児玉千賀子

♩ = 144

C

Am

Dm

G7

ゆ び の か ぞ く は な ー ん にーん

Em

onC[♯]
A7

Dm

G7

C

5 に ん とーん とん とーん

Dm7

G7

C

Am

Dm

お お お お あ と か に ね か う あ い え ち ゃ さ ん さ ん さ ん さ ん さ ん

ゆ び は ど お

G7

Em

A7

Dm7

G7

C

5 とーん とん とーん

い ち の ゆ び び び び び
に の の ゆ ゆ ゆ
さ ん の の の
よ ん の の の
ー の の の

- 17. おとのおなまえ
- 18. ゆびくぐり
- 19. ゆびごえ
- 20. のぼって おりよう ドレミファソラ
- 21. おりて のぼろう ドレミファソラ
- 22. ドレミファソラのおけいこ①
- 23. ドレミファソラのおけいこ②

<p>22. ドレミファソラのおけいこ①</p>	<p>23. ドレミファソラのおけいこ②</p>
--------------------------	--------------------------

ドレミファソラのおけいこ①

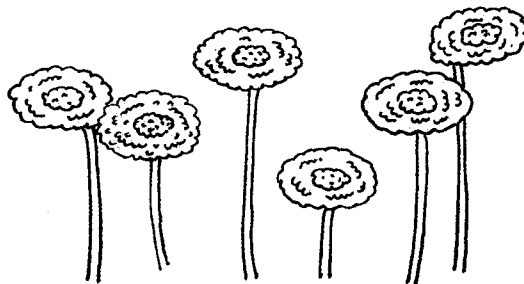
生徒

先生

ドレミファソラのおけいこ②

生徒

先生



- 24. のぼって おりよう ドレミファソラシ
- 25. おりて のぼろう ドレミファソラシ
- 26. ドレミファソラシのおけいこ①
- 27. ドレミファソラシのおけいこ②

<p>26. ドレミファソラシのおけいこ①</p>	<p>27. ドレミファソラシのおけいこ②</p>
---------------------------	---------------------------

ドレミファソラシのおけいこ①

生徒

先生

ドレミファソラシのおけいこ②

生徒

先生

- 28. のぼって おりよう ドレミファソラシド
- 29. おりて のぼろう ドレミファソラシド
- 30. ドレミファソラシドのおけいこ①
- 31. ドレミファソラシドのおけいこ②

<p>30. ドレミファソラシドのおけいこ①</p>	<p>31. ドレミファソラシドのおけいこ②</p>
----------------------------	----------------------------

ドレミファソラシドのおけいこ①

生徒

先生

ドレミファソラシドのおけいこ②

生徒

先生

- 32. おんかいをかいてみよう (ぜんおんぷ)
- 33. おんかいをかいてみよう (にぶおんぷ)
- 34. おんかいをかいてみよう (しぶおんぷ)
- 35. れんしゅう①

35. れんしゅう①	れんしゅう②

れんしゅう②

れんしゅう①

生徒

先生

れんしゅう②

生徒

先生

- れんしゅう③
- れんしゅう④

れんしゅう③	れんしゅう④

れんしゅう③

生徒

先生

れんしゅう④

生徒

先生

れんしゅう⑤ (ゆびうつし)
れんしゅう⑥ (ゆびうつし)

れんしゅう⑤ (ゆびうつし)	れんしゅう⑥ (ゆびうつし)

れんしゅう⑤ (ゆびうつし)

生徒

先生

れんしゅう⑥ (ゆびうつし)

生徒

先生

れんしゅう⑦
れんしゅう⑧

れんしゅう⑦	れんしゅう⑧

れんしゅう⑦

生徒

先生

れんしゅう⑧

生徒

先生

《資料1》 アセスメントシート 1-1 (詳細は、p12を参照ください。)

こころと、耳をひらくテキスト

あぶり〜れ

アセスメントシート 1-1				記入日			
				平成	年	月	日
ふりがな				生年月日・年齢		性別	
お子様のお名前	様			平成	年	月	日
				歳		<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
所属 (幼稚園・学校・ 学年等)						<input type="checkbox"/> 通常 <input type="checkbox"/> 支援	
ふりがな				ご紹介者、きっかけ等			
保護者氏名							
住所	〒 -			自宅電話番号： () 携帯電話番号： ()			
同居家族続柄	氏名	職業・学校・所属等	年齢	生年月日	出身地		
父				年 月 日			
母				年 月 日			
				年 月 日			
				年 月 日			
				年 月 日			
				年 月 日			
				年 月 日			
家族状況 (養育環境)	お子様を日中主に養育している方 母・父・祖父(母方・父方)・祖母(母方・父方) その他 ()						
障がい・病気の 診断名				受診医療機関名 主治医			
身体・精神 障がい者手帳 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				療育手帳 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B			
終了した学校等	幼稚園・保育園卒園 ----- 小学校卒業 ----- 中学校卒業 ----- その他利用した施設						

アセスメントシート 1-2

こころと、耳をひらくテキスト

あぷり〜れ

アセスメントシート 1-2		記入日	
		平成	年 月 日
お子様のご様子	現状について		
	コミュニケーションと情緒の安定（不安・恐怖・パニック・こだわりなど）		
	人への興味	ある 5・4・3・2・1 ない	会話 <input type="checkbox"/> スラスラ <input type="checkbox"/> 二語 <input type="checkbox"/> 単語 <input type="checkbox"/> 喃語 <input type="checkbox"/> やりとりできる <input type="checkbox"/> 一方的
	目を合わせる	合わせる 5・4・3・2・1 合わせない	
	呼名に応じる	応じる 5・4・3・2・1 応じない	言葉の理解 理解できる 5・4・3・2・1 理解できない
	表情	ある 5・4・3・2・1 ない	
	まね	する 5・4・3・2・1 しない	遊び 集中できる 5・4・3・2・1 集中できない
	遊び	ひとり できる 5・4・3・2・1 できない	
		集団 できる 5・4・3・2・1 できない	絵本 読む 5・4・3・2・1 読まない
	片付け	できる 5・4・3・2・1 できない	
切り替え	できる 5・4・3・2・1 できない	服薬 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 管理方法：	
母子分離	できる 5・4・3・2・1 できない		
健康状態について	目・耳・口、発作、呼吸器系、内分泌系、運動・皮膚など		
健康の保持について	生活リズム（睡眠・食事・外出）など		
環境の把握力について	聴力の問題 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		視力の問題 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	感覚過敏・鈍感（五感+暑さ・寒さ、皮膚感覚、内部感覚など）		
身体の動きについて	姿勢（学習・作業姿勢など） 移動動作（粗大運動、微細運動、協調動作、巧緻動作、器用さなど）		
学力の状況	得意と苦手・好き嫌いな領域。学習障害（聞く・話す・読む・書く・計算する・推論する）		
本人と保護者の音楽への期待			

《資料2》 アセスメントシート2 (詳細は、p12を参照ください。)

こころと、耳をひらくテキスト

あぷり〜れ

アセスメントシート2		記入日
		平成 年 月 日
ふりがな		ご記入の方のお名前
お名前	様	様
		ご利用のお子様とのご関係 ()
コミュニケーションの状況	<p>1. ことばの発達の状態</p> <p>2. ことば以外の要求や拒否の仕方</p> <p>3. 大人からの指示の仕方配慮しなければならないこと</p> <p>4. ご家庭で心がけている意思や気持ちの確認方法などがあれば教えてください</p>	
パニックの様子や苦手なこと	<p>1. パニックになることはありますか? <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない</p> <p>2. パニックの原因や、落ち着くまでの時間、どのようにして落ち着くかなどを教えてください。</p>	
こだわりや好きなこと		
ご要望	<p>どのようなことを望んでいますか?</p> <p>ご参加に関して、心配なところがあれば、お教えてください。</p>	

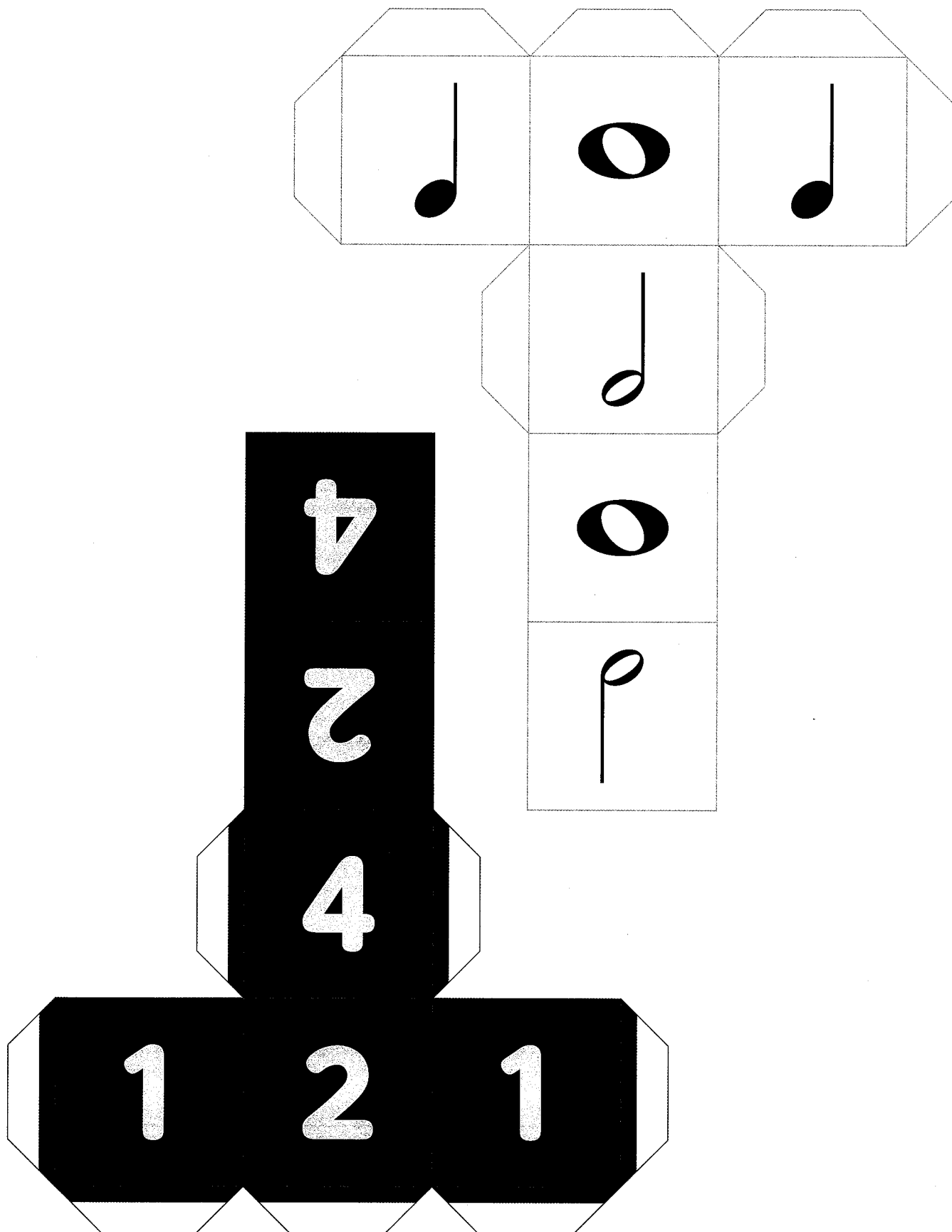
《資料3》 レッソンの記録 (詳細は、p15を参照ください。)

こころと、耳をひらくテキスト

あぷり〜れ

レッスンの記録				
ふりがな				記入日
お子様のお名前	様			平成 年 月
レッスン日時	機嫌・体調 悪い 1 →→→ 5 良い	集中の度合い 低い 1 →→→ 5 高い	特記事項	保護者様のご様子
日 : から : まで	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
取り組んだ課題				
日 : から : まで	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
取り組んだ課題				
日 : から : まで	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
取り組んだ課題				
日 : から : まで	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
取り組んだ課題				
日 : から : まで	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
取り組んだ課題				
日 : から : まで	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
取り組んだ課題				
日 : から : まで	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
取り組んだ課題				

《資料4》 おんぷさいころ (コピーしてお使いください)



※ 本書に記載しておりますお子様のお名前は、すべて仮名です。

【参考文献】

山本美芽

2017年、音楽之友社より出版。

『ピアノ教本ガイドブック ～生徒を生かすレッスンのために～』

福田りえ

2018年、音楽之友社より指導書を出版。

『できた！を明日の自信へ 気になる子へのピアノレッスン』

事例でわかる グレーゾーン・障がい児指導

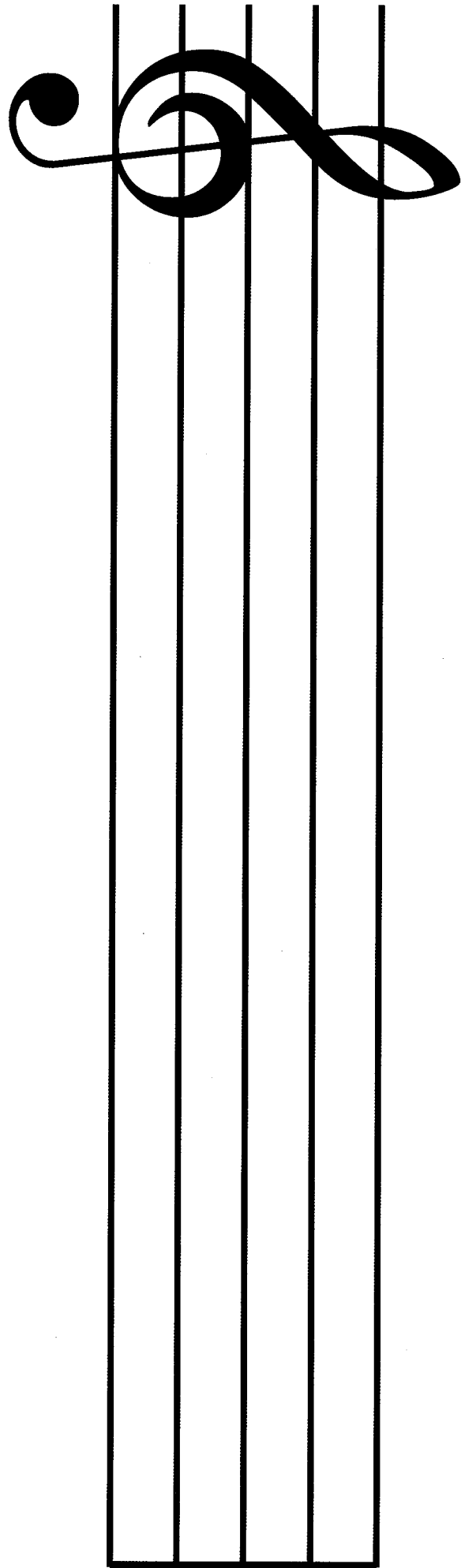
【楽曲の提供】 2名の方より楽曲を提供していただきました。

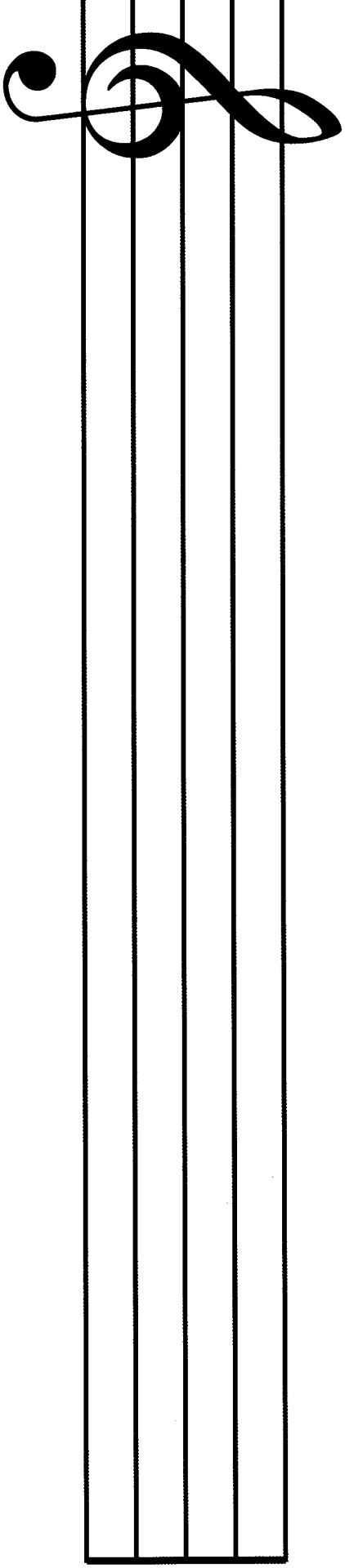
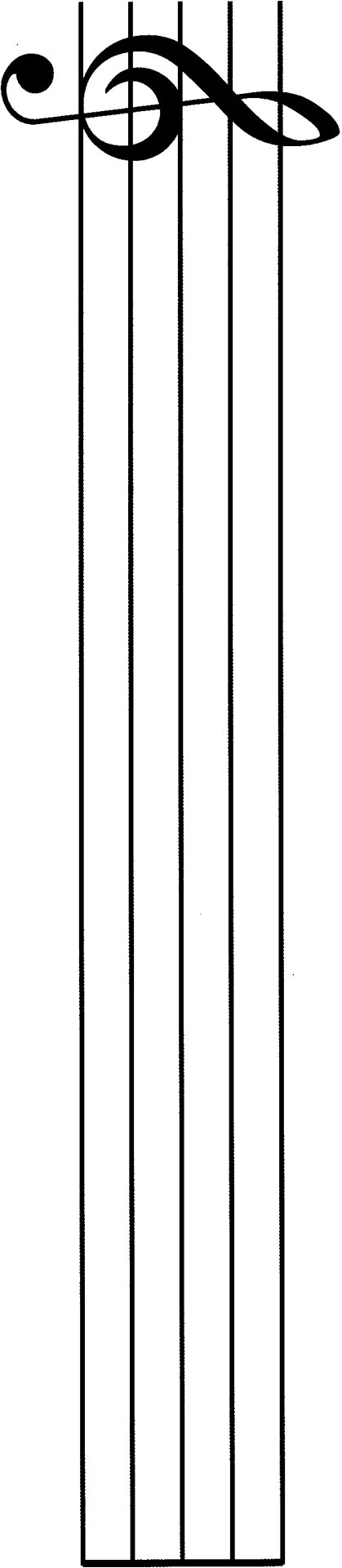
メロディ譜：福田りえ

2巻 / p36～45、3巻 / p28～29、p32～33、p36～37 p42～49

伴奏譜：園畑貴之

4巻 / p72～77、p81～82、p84～87







児玉千賀子

Chikako Kodama

特定非営利活動法人アジェンダやまがた
代表理事

桐朋学園大学演奏学科音楽専攻卒業。山形市中心市街地活性化を目的に、2007年に団体設立。中心市街地にて指定障がい児通所支援事業所「音楽なかまプリモ」「音楽なかまアンジェリ」を運営し、障がい児を対象にした音楽を使った療育活動・音楽指導に力を注いでいる。

特定非営利活動法人アジェンダやまがた
〒990-0044 山形県山形市木の実町 2-7 ダイヤ 37 木の実町
電話：023-679-4045 メールアドレス：salon@ruby.plala.or.jp
ホームページ：http://nanoka.info/

こころと、^{みみ}耳をひらく

あふり〜れ だい4かん 指導書

2018年3月1日 第1刷発行

著者	児玉千賀子
監修	宮崎昭、春畑セロリ、福田りえ
発行者	特定非営利活動法人アジェンダやまがた
作曲	児玉千賀子、佐藤開生、春畑セロリ、福田りえ
編曲	佐藤開生、園畑貴之
イラスト	さささちみ
デザイン	佐藤朝洋
印刷	株式会社大風印刷

JASRAC 出 1715527-701



